

書評 201906



学びを結果に変えるアウトプット大全

樺沢 紫苑 著

サンクチュアリ・パブリッシング(サンクチュアリ出版)

仕事や勉強をアウトプット中心に切り替えるだけで、自己成長は飛躍的に加速し、計り知れない能力を発揮できる。日本一情報を発信する精神科医が、脳科学に裏付けられた伝え方・書き方・動き方を紹介する。

2018:8./ 269p

978-4-8014-0055-9

本体 ¥1,450+税



産経新聞 2019/06/01



暴君～新左翼・松崎明に支配された JR 秘史～

牧久 著

小学館

機関士に憧れた少年時代から、「革マル派」最高幹部、JR 東日本「影の社長」へ…。国鉄解体前後から 30 余年に及んで“封印”されてきた、松崎明の生涯を軸に展開する、複雑怪奇な平成 JR の裏面史。

2019:4./ 476p

978-4-09-388665-9

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/06/01、読売新聞 2019/06/09、日本経済新聞 2019/06/22



偽りの春～神倉駅前交番狩野雷太の推理～

降田 天 著

KADOKAWA

「落としの狩野」と呼ばれた元刑事の狩野雷太。今は交番に勤務する彼と対峙するのは、一筋縄ではいかない 5 人の容疑者で…。表題作など全 5 編を収録したミステリ短編集。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:4./ 266p

978-4-04-107946-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/06/02



始皇帝中華統一の思想～『キングダム』で解く中国大陸の謎～(集英社新書 0975)

渡邊 義浩 著

集英社

膨大な人口の広大なエリアを、中国の歴代皇帝はなぜ統一することができたのか。答えは秦が採用した「法家」の思想と統治のノウハウにある。法家という思想を漫画「キングダム」の名場面を引用しながら縦横に解説する。

2019:4./ 205p

978-4-08-721075-0

本体 ¥800+税



産経新聞 2019/06/02



文化社会学界隈

井上 俊 著

世界思想社

小説、ルポルタージュ、映画、漫画、武道、スポーツなど、多くの世界と往来を重ねて豊かになる文化社会学。その界隈を遊歩しながら、賑わいの風景と人々の姿を写す。『社会学評論』等に掲載されたエッセイを書籍化。

2019:4./ 5p,262p

978-4-7907-1728-7

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2019/06/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2019 年 7 月時点での税抜価格です。



日日是日本語～日本語学者の日本語日記～

今野 真二 著
岩波書店

「浅く、単純に、粗く」なってゆく日本語の使われ方を憂いつつも、「知らない日本語はまだいくらでもある」ことを喜び…。ことばを考えるヒントに充ちた、日本語学者の日本語日記。2018年1?12月の日記を書籍化。

2019:4./ 11p,272p
978-4-00-061334-7

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/06/02、産経新聞 2019/06/02



電鉄は聖地をめざす～都市と鉄道の日本近代史～(講談社選書メチエ 701)

鈴木 勇一郎 著
講談社

近代の荒波を生き抜く希望を鉄道に見いだした社寺と、そこに成功栄達の機を嗅ぎつける怪しくも逞しき人々。彼らの無軌道な行動と情熱に光を当て、都市と鉄道という近代化の物語の陰に隠された都市形成の歴史を明らかにする。

2019:5./ 233p

978-4-06-515712-1

本体 ¥1,650+税



産経新聞 2019/06/02、読売新聞 2019/06/09



ルース・スレンチェンスカ～九十四歳のピアニスト～音で語りかける～(のこす言葉)

ルース・スレンチェンスカ、大野 陽子 編
ルース・スレンチェンスカ 著
平凡社

音楽という世にも美しいものを聴く人と分かちあいたい。90代のいまもなお、日々進化し続ける奇跡のピアニスト、ルース・スレンチェンスカが、自身のこれまでを語る。人生の先輩による語りおろし自伝シリーズ。

2019:5./ 104p

978-4-582-74119-3

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2019/06/02、読売新聞 2019/06/30



本当の翻訳の話しよう

村上 春樹、柴田 元幸 著
スイッチ・パブリッシング

翻訳の不思議、短篇小説のつくり方…。村上春樹と柴田元幸による、20世紀アメリカ文学を中心にした、小説と翻訳をめぐる対話を収録する。『MONKEY』掲載をもとに単行本化。

2019:5./ 285p

978-4-88418-466-7

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/06/02、読売新聞 2019/06/30



平成史(小学館文庫 さ11-2)

佐藤 優、片山 杜秀 著
小学館

バブル崩壊、オウム真理教テロ、福島原発事故…。「平成」の30年間に何が起きたか。なぜ起きたか。同時代に生きる2人が、政治、経済、事件、文化を縦横無尽に語り尽くす。文庫版新章「平成が終わった日」なども収録。

2019:4./ 540p

978-4-09-406634-0

本体 ¥840+税



産経新聞 2019/06/08



ユダヤの商法～世界経済を動かす～ 新装版

藤田 田 著
ベストセラーズ

どうすれば金持ちになれるのか。その答えは世界の巨富を一手に集めるユダヤ商法の「定石」にあった。「銀座のユダヤ人」と呼ばれた日本マクドナルド創業者・藤田田が、金持ちになるための原理原則を明かす。

2019:4./ 259p
978-4-584-13900-4
本体 ¥1,470+税



産経新聞 2019/06/08、読売新聞 2019/06/16



友達未遂

宮西 真冬 著
講談社

全寮制女子校・星華高等学校の「マザー制度」は、3年生を「マザー」、1年生を「チャイルド」といって寝食を共にしルールやマナーを教える。1年生の茜は、マザーである桜子にかわいがられるが、ある日不審な事件が起きて...

2019:4./ 283p
978-4-06-513965-3
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/06/09



失われた美風(管見妄語)

藤原 正彦 著
新潮社

水に落ちた犬を打つような風潮、ずる賢さの氾濫、早期英語教育推進をはじめとする欧米への迎合。日本ならではの美風を忘れた社会を指弾し、取り戻すべき美徳を改めて説く。『週刊新潮』連載を書籍化。

2019:5./ 204p
978-4-10-327415-5
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/06/09



「抗日」中国の起源～五四運動と日本～(筑摩選書 0171)

武藤 秀太郎 著
筑摩書房

2019年に100周年を迎える「五四運動」。中国を規定するこの歴史的事件を、運動の担い手をうみだした中国高等教育の成り立ちと日本との関連にスポットをあてて分析。中国の複雑な対日感情の構造を透写する。

2019:2./ 289p,10p
978-4-480-01679-9
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2019/06/09



「舞姫」の主人公をパンカラとアフリカ人がボコボコにする最高の小説の世界が明治に存在したので20万字くらいかけて紹介する本

山下 泰平 著
柏書房

漱石・?外を人気で圧倒しながら、今では知名度ゼロの<明治娯楽物語>。その全容をひもときながら、現代の創作物に与えた影響、明治人が一度は捨てた虚構を楽しむ技術を取り戻すまでの流れを紹介する。

2019:5./ 380p
978-4-7601-5007-6
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/06/09



偽善者の見破り方～リベラル・メディアの「おかしな議論」を斬る～

岩田 温 著
イースト・プレス

安倍政権の独走を許す野党の迷走、人権を錦の御旗に皇室廃絶をたくらむ学者たち...。新進気鋭の政治学者が、「リベラル」を騙る偽善者の正体を論理的に暴露し、冷静な視点から斬る。

2019:5./ 350p
978-4-7816-1782-4
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/06/09



新聞という病(産経セレクト S-014)

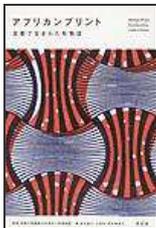
門田 隆将 著
産経新聞出版

マスコミだけが情報を独占できた時代は「過去のもの」となり、その過程で新聞の実像が浮き彫りにされていった。変貌するジャーナリズムの姿や本質を見失いつつある世の中を指摘する。『産経新聞』『正論』掲載を書籍化。

2019:5./ 286p
978-4-8191-1367-0
本体 ¥880+税



産経新聞 2019/06/09



アフリカプリント～京都で生まれた布物語～

京都工芸繊維大学美術工芸資料館、並木 誠士、上田 文、青木 美保子 著
青幻舎

1950?60年代の京都で大量生産され輸出されていたアフリカプリント。その生産秘話や、大手染工会社・大同マルタ染工が現地で手に入れたプリント見本、生産したプリントなどを、豊富なカラー図版とともに紹介する。

2019:5./ 167p
978-4-86152-729-6
本体 ¥2,500+税



産経新聞 2019/06/09



世界の外あそび学じてん

こどもくらぶ 著
今人舎

どうして世界中に同じようなあそびがあるの? 「おにごっこ」「ボールゲーム」「アジア」「ヨーロッパ他」などに分け、世界各国の外あそびを紹介。“ケンパ”の国ごとの違いを取り上げた特集も収録。見返しに地図あり。

2019:5./ 191p
978-4-905530-80-0
本体 ¥2,500+税



産経新聞 2019/06/09



かみさまのおはなし

藤田 ミツ、渡邊 みどり、高木 香織 著
講談社

神さまたちは、どうやって日本の国をつくったのでしょうか。幼稚園経営者だった藤田ミツが子どもたちに日本の神話に親んでもらうために「古事記」をやさしく書きかえた「カミサマノオハナシ」を元にした本。

2019:5./ 238p
978-4-06-515405-2
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/06/15



社会学史(講談社現代新書 2500)

大澤 真幸 著
講談社

マルクスもフロイトも社会学者だった! アリストテレスからカンタン・メイヤスーまで、知の巨人が産み出した思想を、網羅的に平易な講義文体で解説する。現代社会をよりよく生きるために必須の知恵がつまった一冊。

2019:3./ 638p
978-4-06-288449-5
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/06/16



同潤会代官山アパートメント

三上 延 著
新潮社

昭和と共に誕生し、その終わりに解体された日本最初の近代集合住宅「同潤会代官山アパートメント」。そこに暮らす一家の四世代にわたる歳月を通して、<心の居場所>を描く。『yomyom』掲載を単行本化。

2019:4./ 250p
978-4-10-352531-8
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/06/16



夜の塩

山口 恵以子 著
徳間書店

昭和 30 年。名門私立女子校で英語教師として働いていた十希子の母が、汚職事件に関与していた商社の男と心中したという。母は事件に巻き込まれたのか。謎を解くため、十希子は母の勤めていた高級料亭で仲居として働き始め…。

産経新聞 2019/06/16

2019:3./ 316p
978-4-19-864799-5
本体 ¥1,700+税



六角定頼〜武門の棟梁、天下を平定す〜(ミネルヴァ日本評伝選)

村井 祐樹 著
ミネルヴァ書房

足利将軍家の後盾となり、北近江浅井氏をも支配下に置いた戦国大名・六角定頼。最盛期には天下人ともいえる存在となったのはなぜか。定頼を中心に、近江に盤踞した謎の佐々木六角一族の足跡を辿る。

産経新聞 2019/06/16

2019:5./ 20p,329p,10p
978-4-623-08639-9
本体 ¥3,500+税



ジャパ・ストーリー〜昭和・平成の日本政治見聞録〜

ジェラルド・L.カーティス、村井 章子 著
日経BP社

東京オリンピックが開かれた 1964 年に来日して以来、日本政治の研究者として優れた業績を上げてきた著者による、個性豊かな政治家たちのマル秘話を交えた昭和・平成政治史。中曽根康弘インタビューも収録。

産経新聞 2019/06/16

2019:5./ 293p
978-4-8222-8970-6
本体 ¥1,800+税



明治維新の光と影〜この歴史から見えてきた日本の役割〜 新版

西原 春夫 著
万葉舎

ヨーロッパの中世から明治維新、人類の近未来までを一つの流れとしてとらえ、日本の進路を探る。91 歳元早稲田大学総長による入魂の名著。加筆することにより、著者独自の歴史感の体系化が進んだ新版。

産経新聞 2019/06/16

2019:4./ 271p
978-4-86050-094-8
本体 ¥1,700+税



よのなかルールブック〜メシが食える大人になる!〜

高濱 正伸、林 ユミ 著
日本図書センター

迷ったときは、キツイほうを選ぶ。自分のことばで話せる人になる。「ありがとう」を口ぐせに。少しずつ下り坂の道をすすんでいる日本で、人生を生き抜くために必要なことを、50 のことばとともに紹介する。

産経新聞 2019/06/22

2019:1./ 111p
978-4-284-20435-4
本体 ¥1,300+税



合唱指揮者という生き方〜私が見た「折々の美景」〜

清水 敬一 著
アルテスパブリッシング

多くの作曲家から絶大な信頼を受け、どんな合唱団からもベストな響きを生み出すコーラスのマジシャン-合唱指揮者・清水敬一の半生と、その音楽の秘密を明かす。『教育音楽』連載をもとに単行本化。

産経新聞 2019/06/22

2019:6./ 246p
978-4-86559-203-0
本体 ¥1,800+税





はい!こちら子ども記者相談室デス!

かめおか子ども新聞、ヨシタケ シンスケ 著
新潮社

子どもが書いて大人が読む月刊紙『かめおか子ども新聞』の相談コーナーをまとめた本。「夫婦の「愛」ってなんでしょう」「不景気、災害多発...将来が不安です」といった大人の悩みを、子ども記者がズバッと解決する。

産経新聞 2019/06/23

2019:5./ 127p
978-4-10-352631-5

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 1 0 3 5 2 6 3 1 5 *



百年の批評～近代をいかに相続するか～

福嶋 亮大 著
青土社

近代は終わった? だが、それは無にはならない。「日本は近代のテスターである」というテーゼを掲げて、オリジナルな平成文学論から、鋭角的な少国民世代論・物語論までを一挙展開。百年の日本を展望する。

産経新聞 2019/06/23

2019:5./ 354p,12p
978-4-7917-7167-7

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 1 6 7 7 *



『諸君!』のための弁明～僕が文藝春秋でしたこと、考えたこと～

仙頭 寿頭 著
草思社

「反・体制」ではなく「反・大勢」を目指して。文藝春秋のオピニオン誌『諸君!』の編集に長年たずさわった編集者による、歯に衣着せぬ回想。洒脱な筆致で、迷走する雑誌ジャーナリズムの存在理由を問い直す。

産経新聞 2019/06/23

2019:5./ 390p
978-4-7942-2395-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 2 3 9 5 1 *



読むよむ書く～迷い多き君のためのブックガイド～

重松 清 著
幻戯書房

さだまさし「解夏」、宮部みゆき「理由」、みうらじゅん「愛にこんがらがって」、酒井順子「金閣寺の燃やし方」、太宰治「晩年」など必読の 50 冊を、早稲田大学で教鞭を執るシゲマツ教授が解説するブックガイド。

産経新聞 2019/06/23

2019:3./ 285p
978-4-86488-167-8

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 8 6 4 8 8 1 6 7 8 *



マレーシア人が見た!体験した!日本企業の強みと弱み

呉 志豪 著
エフジー武蔵

21 歳で日本に私費留学し、東京と香港で起業したマレーシア人実業家が、少年時代や日本の恩人たち、反面教師の日本企業、4 カ国語と人脈を武器につちかったグローバルビジネスの極意などについて綴る。

産経新聞 2019/06/23

2019:3./ 188p
978-4-86646-033-8

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 6 4 6 0 3 3 8 *



幕末下級武士の絵日記～その暮らしの風景を読む～ 新訂

大岡 敏昭 著
水曜社

幕末の下級武士・尾崎石城が書き記した「石城日記」には、さまざまな人びとの暮らしの風景が絵日記として丹念に描かれている。ほのぼのとして味わいのある彩色図をオールカラーで掲載し、石城らの暮らしを浮かび上がらせる。

産経新聞 2019/06/23

2019:4./ 205p
978-4-88065-459-1

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 8 8 0 6 5 4 5 9 1 *



動乱の刑事

堂場 瞬一 著
講談社

1952年。東京都内の駐在所が爆破され、駐在巡査が犠牲に。刑事の高峰と公安の海老沢は、共同戦線を張って事件解決に挑むが…。戦後警察の光と闇を炙り出す一大叙事詩。『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2019/06/30

2019:5./ 337p
978-4-06-515569-1
本体 ¥1,700+税



冗談音楽の怪人・三木鶏郎〜ラジオとCMソングの戦後史〜(新潮選書)

泉 麻人 著
新潮社

NHK ラジオ「日曜娯楽版」で数多のヒット曲を生み、時事コトの数々で政治家たちを激怒させたトリローこと三木鶏郎。日本初のCMソングを作り、無数のCMソングを世に送った謎の傑物の評伝。

産経新聞 2019/06/30

2019:5./ 319p
978-4-10-603842-6
本体 ¥1,500+税



食えなんたら食うな〜今こそ禅を生活に生かせ〜

関 大徹 著
ごま書房新社

病いなんて死ねば治る、ガキは大いに叩いてやれ、社長は便所掃除をせよ、家事嫌いの女など叩き出せ、地震ぐらいで驚くな! 常に天衣無縫のはだしの禅僧に徹した老師が綴った名著を復刻。

産経新聞 2019/06/30

2019:6./ 261p
978-4-341-17236-7
本体 ¥1,800+税



苦しかったときの話をしようか〜ビジネスマンの父が我が子のために書きためた「働くことの本質」〜

森岡 毅 著
ダイヤモンド社

自分の強みをどう知るか。自分の弱さどう向き合うのか。USJ 復活の立役者が、「自分をマーケティングする方法」を教える。キャリアに悩むすべての人に役立つ本質的ノウハウが満載。

産経新聞 2019/06/30

2019:4./ 305p
978-4-478-10782-9
本体 ¥1,500+税



「帝国」ロシアの地政学〜「勢力圏」で読むユーラシア戦略〜

小泉 悠 著
東京堂出版

ウクライナへの軍事侵攻とクリミア半島併合、中東への介入、中国への接近、日本との北方領土問題…。近年広がりを見せるロシアの「勢力圏」。その狙いは何か? 「境界」の概念を軸として、ロシアの地政学的戦略を解説する。

産経新聞 2019/06/30

2019:6./ 291p
978-4-490-21013-2
本体 ¥2,400+税



路地裏の子供たち

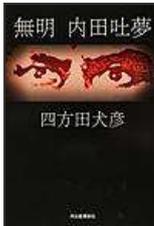
スチュアート・ダイバック、柴田 元幸 著
白水社

夏になると現れる行商人の秘密を知った「パラツキーマン」など、うらぶれた路地裏が冒険と発見に満ちていた子供時代を叙情豊かに描いたスチュアート・ダイバックのデビュー短篇集。全11篇に日本版特別寄稿エッセイを付す。

産経新聞 2019/06/30

2019:4./ 268p
978-4-560-09694-9
本体 ¥2,800+税





無明 内田吐夢

四方田 犬彦 著
河出書房新社

内田吐夢の映画の深く暗い力はどこから来たのか-。日本映画史上最大の巨匠のひとりでありながら正面から論じられてこなかった内田吐夢の軌跡と作品、その核心に、日本映画の大批判者が挑む。

2019:5./ 369p
978-4-309-25630-6
本体 ¥3,900+税



産経新聞 2019/06/30、毎日新聞 2019/06/30



還流する魂(マブイ)〜世界のウチナーンチュ 120 年の物語〜

三山 喬 著
岩波書店

沖縄で、5 年に一度開催される「世界のウチナーンチュ大会」。世界各国から移民の末裔が集結する壮大な祭りだが、彼らはなぜ三世・四世になっても「ルーツの結束」にこだわるのか。世界中の沖縄系移民がたどった数奇な物語。

2019:4./ 19p,228p,11p
978-4-00-024535-7
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/06/01



ノートル=ダム・ド・パリ<上>(岩波文庫 32-532-3)

ユゴー、辻 昶、松下 和則 著
岩波書店

醜い鐘番カジモド、美しい踊り子エスメラルダ、陰鬱な司教補佐クロード・フロロ。<宿命>によって翻弄される登場人物たちが繰り広げる感情のドラマ。1482 年のパリを舞台に中世の社会と民衆の風俗を生き生きと描く。

2016:5./ 469p
978-4-00-325327-4
本体 ¥1,070+税



朝日新聞 2019/06/01



ノートル=ダム・ド・パリ<下>(岩波文庫 32-532-4)

ユゴー、辻 昶、松下 和則 著
岩波書店

無実の罪で死刑を宣告されたエスメラルダ。カジモドはノートル=ダム大聖堂に彼女をかくまい、やさしく見守る。一方、エスメラルダへの狂おしい想いに取りつかれたクロード・フロロは、苦悩に満ちた愛の告白をする...

2016:6./ 563p
978-4-00-325328-1
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/06/01



内戦の地に生きる〜フォトグラファーが見た「いのち」〜(岩波ジュニア新書 894)

橋本 昇 著
岩波書店

苦悩、悲しみ、怒り、祈り、そして、愛や憎しみ。フィルムの中で、人々は“生きることの意味”を問いかけていた-。国内の被災地や海外の内戦、難民を取材してきたフォトグラファーが、多くの写真とともに見てきたままと綴る。

2019:4./ 8p,241p
978-4-00-500894-0
本体 ¥900+税



朝日新聞 2019/06/01



君のくれるまずい飴〜冬虫カイコ作品集〜(BEAM COMIX)

冬虫 カイコ 著
KADOKAWA

引越し先の漁師町になじめない硝子の憂鬱『泳ぐ花』。ウェブや同人誌即売会で発表された 8 編に加筆、さらに描きおろし 4 編をくわえ、大ボリュームでお届けする注目の作家・冬虫カイコの作品集。

2019:4./ 259p
978-4-04-735653-5
本体 ¥850+税



朝日新聞 2019/06/01



遙かなノートル・ダム(講談社文芸文庫 も F1)

森 有正 著
講談社

自己、自由、平和…。これらの言葉は、経験によって練り上げられ、定義されない限り、空虚な名辞に過ぎない。経験はいかに思想となりうるのか。著者の思想的転回点となった画期的な哲学エッセー。

2012:10./ 290p
978-4-06-290176-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/01



人外

松浦 寿輝 著
講談社

アラカシの枝の股から滲みだし、四足獣のかたちをとった「それ」は、荒廃した世界の風景を横切り…。ゆくてに待ち受けるのは、いったい何か? 世界のへりをめぐるよるべない魂の旅を描く小説。『群像』連載を単行本化。

2019:3./ 269p

978-4-06-514724-5

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/06/01



世界が変わる「視点」の見つけ方～未踏領域のデザイン戦略～(集英社新書 0974)

佐藤 可士和 著
集英社

誰でも活用できる「デザインの力」とは? 「健康」「平和」「防災」などのテーマを通して、新しい視点を発見する、佐藤可士和が慶應義塾大学 SFC で行っている画期的な授業「未踏領域のデザイン戦略」を書籍化。

2019:4./ 187p

978-4-08-721074-3

本体 ¥780+税



朝日新聞 2019/06/01



バブル～日本迷走の原点～(新潮文庫 な-101-1)

永野 健二 著
新潮社

1980 年代後半、株価と地価が急上昇し日本全体が浮かれていた。政官民一体で繰り広げられた狂乱の時代とはなんだったのか。現場を見続けた「伝説の記者」が、「失われた 20 年」と呼ばれるデフレを招いた原因を捉える。

2019:5./ 362p,4p

978-4-10-101381-7

本体 ¥590+税



朝日新聞 2019/06/01



金色夜叉 改版(新潮文庫)

尾崎 紅葉 著
新潮社

朝日新聞 2019/06/01

2004:5./ 583p

978-4-10-107401-6

本体 ¥750+税



高村光太郎詩集 改版(新潮文庫)

高村 光太郎、伊藤 信吉 著
新潮社

朝日新聞 2019/06/01

2005:3./ 261p

978-4-10-119601-5

本体 ¥490+税





新訳夢判断(新潮モダン・クラシックス)

フロイト、大平 健 著
新潮社

ひた隠しにしていた性的欲求が丸出しの夢、試験に落ちる夢、親を殺す夢…。本当の自分が潜む場所「夢」を分析し、悩みを解き明かすフロイトの歴史的ベストセラー。長年患者の夢や無意識と向き合い続けた精神科医による翻訳。

朝日新聞 2019/06/01

2019:4./ 457p
978-4-10-591007-5
本体 ¥2,500+税



死にがいを求めて生きているの

朝井 リョウ 著
中央公論新社

植物状態のまま眠る青年と見守る友人。美しい?がりに見えるふたりの“歪な真実”とは? 平坦で争いのない「平成」の日常を、朝井リョウが現代の闇と祈りを込めて描く。『小説 BOC』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2019/06/01

2019:3./ 473p
978-4-12-005171-5
本体 ¥1,600+税



臓器たちは語り合う～人体 神秘の巨大ネットワーク～(NHK 出版新書 587)

丸山 優二、NHK スペシャル「人体」取材班 著
NHK出版

臓器同士のメッセージのやりとりが、私たちの体を支えるカギとなっている。生命科学の最先端への取材成果を基に、従来の人体観を覆す科学ノンフィクション。NHKスペシャル「人体」8番組をまとめて書籍化。

朝日新聞 2019/06/01

2019:5./ 284p
978-4-14-088587-1
本体 ¥900+税



ヒト夜の永い夢(ハヤカワ文庫 JA 1373)

柴田 勝家 著
早川書房

昭和 2 年。超心理学者の福来友吉に誘われ、学者たちの秘密団体「昭和考幽学会」に加わった、稀代の博物学者・南方熊楠。新天皇即位の記念行事のため、粘菌コンピュータにより思考する自動人形を作るが…。一大昭和伝奇ロマン。

朝日新聞 2019/06/01

2019:4./ 573p
978-4-15-031373-9
本体 ¥1,000+税



キャッシュレス国家～「中国新経済」の光と影～(文春新書 1213)

西村 友作 著
文藝春秋

国家主導でキャッシュレスを推進する中国。モバイル決済が普及し、それを前提とした新ビジネスが続々と誕生。しかも、その利用履歴が国民の統治制度に組み込まれつつある。壮大な社会実験に取り組む中国の現状を紹介する。

朝日新聞 2019/06/01

2019:4./ 234p
978-4-16-661213-0
本体 ¥850+税



「不法」なる空間に生きる～占拠と立ち退きをめぐる戦後都市史～

本岡 拓哉 著
大月書店

戦後の住宅難において生成され、都市で生きる人々の軌跡が交錯する独特な空間となったバラック街は、都市開発のなかで「不法」な存在とされ、多くが消滅へと至った。バラック街の消滅と忘却の歴史をすくいとる戦後史。

朝日新聞 2019/06/01

2019:4./ 9p,238p,3p
978-4-272-52112-8
本体 ¥3,200+税





ディスタント

ミヤギ フトシ 著

河出書房新社

僕をあなたの部屋に連れて行ってほしい。そして、あなたと僕、ふたりの写真を撮らせてほしい。まるで、僕たちふたりが恋人同士であるかのような。気鋭の現代美術作家が描く青春小説。『文藝』掲載を単行本化。

2019:4./ 282p

978-4-309-02796-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/06/01



大量廃棄社会～アパレルとコンビニの不都合な真実～(光文社新書 998)

仲村 和代、藤田 さつき 著

光文社

たくさん作って、無駄に捨てられる年間 10 億着の衣服や、大量の恵方巻き。「無駄」の裏には必ず「無理」が潜んでいる。大量廃棄社会の実情と解決策を、「SDGs プロジェクト」に取り組む朝日新聞記者 2 人がレポートする。

2019:4./ 318p

978-4-334-04405-3

本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/06/01



12階から飛び降りて一度死んだ私が伝えたいこと(光文社新書 999)

モカ、高野 真吾 著

光文社

自殺、性転換、うつ、孤独…。経営者であり、漫画家であり、元男性のトランスジェンダーでもあるモカが、壮絶な半生と、無償でお悩み相談を始めた「貢献」の境地を語る。描き下ろしマンガも収録。

2019:4./ 358p

978-4-334-04406-0

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/06/01



バスは北を進む(幻冬舎文庫 せ-5-3)

せきしろ 著

幻冬舎

故郷で暮らした時間より、出てからの方がずっと長いというのに、思い出すのは北海道東部「道東」の、氷点下で暮らした日々のこと…。自由律俳句も収録したエッセイ集。『小説幻冬』ほか掲載に書き下ろしを加えて文庫化。

2019:4./ 254p

978-4-344-42857-7

本体 ¥580+税



朝日新聞 2019/06/01



稽古の思想

西平 直 著

春秋社

「稽古」とはいかなる思想か。そこに秘められた「智恵」が意味するものとは。教育人間学・死生学・哲学を専門とする著者が、「稽古」を知の地平に解き放ち、こころとからだの世界のありかを探る。

2019:4./ 12p,181p

978-4-393-31303-9

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/06/01



他人の足を引っ張る男たち(日経プレミアシリーズ 400)

河合 薫 著

日本経済新聞出版社

会議でわざと相手が答えられない質問をする、人望のある部下を閑職に飛ばす…。日本の組織にはびこる、非生産的な足の引っ張りあい。個人をむしばみ、ホワイトカラーの“ジジイ化”をうながす「会社員という病」の根源に迫る。

2019:5./ 205p

978-4-532-26400-0

本体 ¥850+税



朝日新聞 2019/06/01



選挙制を疑う(サピエンティア 58)

D.ヴァン・レイブルック、岡崎 晴輝、D.ヴァンオーヴェルベーク 著
法政大学出版局

現代の民主主義諸国が直面する「民主主義疲れ症候群」の原因が、「選挙型」代議制民主主義にあることを明らかにし、古代ギリシアなどの抽選制の政治的伝統や、現代の抽選制の理論と実践を踏まえ、抽選制議会の構想を示す。

2019:4./ 5p,233p,11p

978-4-588-60358-7

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2019/06/01



政治学入門(学問へのファーストステップ 1)

永井 史男、水島 治郎、品田 裕 著
ミネルヴァ書房

政治はどのように捉えればいいのか。初めて政治学に触れる大学生が、入学から卒業に至るまでに、選挙、福祉政策、国際協力といった様々な「政治」を経験するストーリーとともに、政治学の世界をわかりやすく紹介する。

2019:5./ 12p,364p

978-4-623-08568-2

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2019/06/01



新しい古代史へ<1> 地域に生きる人びと

平川 南 著
吉川弘文館

古代の人びとはそれぞれの地域でいかに生きたのか。甲斐国を舞台に様々な文字資料からその実像に迫る。1 は、国府、地方行政、氏族と渡来人の活動の実態など、古代の国家と地域の関係を考察する。『山梨日日新聞』連載を編集。

2019:5./ 7p,235p

978-4-642-06842-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/06/01



人喰い〜ロックフェラー失踪事件〜(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-8)

カール・ホフマン、奥野 克巳、古屋 美登里 著
亜紀書房

なぜマイケルは殺され、食べられなければならなかったのか。1961年、首狩り族の棲む熱帯の地で財閥の御曹司が消息を絶った。全米を揺るがした「ロックフェラー失踪事件」の真相に迫り、人類最大のタブーに挑む。

2019:3./ 431p

978-4-7505-1573-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/06/01



熊谷守一のちを見つめて

熊谷 守一 著
青幻舎

長い人生をかけて自分自身を見つめ表現し続けた画家・熊谷守一。彼の愛したものを、いきものたちを描いた代表作や、素描、書、写真、図面、遺品から探る。2019年4月?2020年1月開催の同名展覧会の公式図録。

2019:4./ 239p

978-4-86152-727-2

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/06/01



黒人小屋通り

ジョゼフ・ゾベル、松井 裕史 著
作品社

カリブ海に浮かぶフランス領マルチニック島。農園で働く祖母のもとに預けられた少年は、仲間たちや大人たちに囲まれ、貧しいながらも天真爛漫な少年時代を過ごす。映画「マルチニックの少年」の原作。

2019:3./ 294p

978-4-86182-729-7

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/06/01



日本の偽書(河出文庫 ふ 19-1)

藤原 明 著
河出書房新社

なぜ偽書に魅せられるのか? 超国家主義と関わる「上記」や「竹内文献」、東北幻想が生んだ「秀真伝」、最古の国史と触れこんだ「先代旧事本紀」など、物議を醸した「太古文献」が夢想した超古代史の共同幻想に挑む。

2019:5./ 192p
978-4-309-41684-7
本体 ¥760+税



朝日新聞 2019/06/01、日本経済新聞 2019/06/01



三つ編み

レティシア・コロソバニ、齋藤 可津子 著
早川書房

インド、イタリア、カナダ。3大陸の3人の女性。かけ離れた境遇に生きる彼女たちに共通しているのは、女性に押しつけられる困難と差別のために立ち向かっていること…。逆境を生きる女性の連帯を描く物語。

2019:4./ 255p
978-4-15-209855-9
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/06/01、毎日新聞 2019/06/09、日本経済新聞 2019/06/22



ミゲル・ストリート(岩波文庫 赤 820-1)

V.S. ナイポール 著
岩波書店

名前のないモノばかり作る大工、世界でいちばんすばらしい詩を書いている詩人-。ストリートで、彼らなりの人生を懸命に生きている個性的な住人たちと、彼らに感受性豊かに反応しながら成長していく主人公を魅力的に描きだす。

2019:4./ 361p
978-4-00-328201-4
本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/06/08



間違いだらけの文章教室(朝日文庫 た 26-8)

高橋 源一郎 著
朝日新聞出版

たくさんの「文章」を読んだぼくは、「文章」に揺さぶられ、いつの間にか、ぼくの「文章」を手に入れていた-。著者が好きな「文章」を紹介し、「名文」以上の文章がある事を解き明かす。NHKTV 放送を基にした補講を追加。

2019:4./ 326p
978-4-02-261962-4
本体 ¥680+税



朝日新聞 2019/06/08



ともに悲嘆を生きる グリーフケアの歴史と文化(朝日選書 982)

島菌 進 著
朝日新聞出版

災害、事故、別離…。「ひとり」に耐えて生き抜く力の源とは? 宗教学の泰斗が、グリーフケアについて概観するとともに、近代日本における悲嘆の経験や表現の歴史について考える。「日本人の死生観を読む」の続編。

2019:4./ 249p
978-4-02-263082-7
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/06/08



ウチら棺桶まで永遠のランウェイ

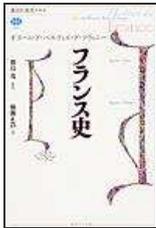
kemio 著
KADOKAWA

人生は環境じゃなくて、全部やり方次第だって私が証明する-。モデルや発信者、歌手として多岐にわたって活躍しているクリエイターkemio が、自身の生き方を綴ったエッセイ。

2019:4./ 205p
978-4-04-065728-8
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/06/08



フランス史(講談社選書メチエ 697)

G.ベルティエ・ド・ソヴィニー 著

講談社

文明の黎明から現代までの3千年を見渡し、フランスの長大な歴史の要点をまとめた通史。ヨーロッパの政治・文化・経済を動かし続けてきたフランスという国をより深く、より明確に知ることができる。

2019:4./ 667p

978-4-06-515029-0

本体 ¥3,150+税



朝日新聞 2019/06/08



雲をつかむ話/ボルドーの義兄(講談社文芸文庫 た AC5)

多和田 葉子 著

講談社

とつぜん届いた犯人の手紙から、「雲蔓式」に明かされる、わたしの奇妙な過去-。「雲をつかむ話」と、ドイツ語で書き、ドイツで発表したのち、自身で日本語小説に転じた「ボルドーの義兄」を収録。

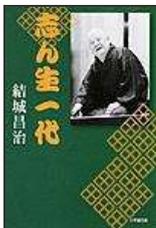
2019:4./ 459p

978-4-06-515395-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/06/08



志ん生一代(小学館文庫 ゆ 6-1)

結城 昌治 著

小学館

落語への情熱は本物だが、「飲む打つ買う」は止められない。師匠を怒らせ、仕事をしじり、改名を繰り返し、借金を重ね…。不世出の天才落語家・古今亭志ん生の、戦前、戦中、戦後を駆け抜けた破天荒人生を描く。

2019:4./ 788p

978-4-09-406626-5

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2019/06/08



志ん生の食卓(新潮文庫 み-62-1)

美濃部 美津子 著

新潮社

納豆、お豆腐、親子丼、お蕎麦にマグロ、桜鍋…。日頃の食卓に並んだ料理、お気に入りのお店あの味など、生粋の江戸っ子である古今亭志ん生の愛した味にまつわる話を、ずっとそばにいた愛娘が語る。

2019:1./ 142p

978-4-10-100426-6

本体 ¥590+税



朝日新聞 2019/06/08



建築史への挑戦～住居から都市、そしてテリトリーオへ～

陣内 秀信、高村 雅彦 著

鹿島出版会

法政大学の建築学科を退任する陣内秀信の最終講義「建築史の可能性への挑戦」をはじめ、藤森照信、野口昌夫、伊藤毅、福井憲彦らによる連続講義の内容を収録。陣内秀信・陣内研究室の研究の軌跡も掲載。

2019:4./ 437p

978-4-306-07351-7

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/06/08



大英帝国は大食らい～イギリスとその帝国による植民地経営は、いかにして世界各地の食事をつくりあげたか～

リジー・コリンガム、松本 裕 著

河出書房新社

16世紀から現代に至る大英帝国の歴史をたどり、イギリスが世界各地の植民地でいかに本国のための食料を作らせ、それがいかに現代の食に影響を与えたかを解説。資料をもとに、各時代を生きた実在の人々の食事風景も描き出す。

2019:3./ 398p,47p

978-4-309-22759-7

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/06/08



談志 最後の落語論(ちくま文庫 た 88-1)

立川 談志 著
筑摩書房

「落語とは、人間の業の肯定である」との名言を記してから 25 年。「イリュージョン」「江戸の風」等のキーワードを基にさらなる進化を遂げた立川談志の落語・落語家論の集大成。「談志最後の 3 部作」第 1 弾。

2018:10./ 247p
978-4-480-43544-6
本体 ¥740+税



朝日新聞 2019/06/08



ぶかぶかな物語～障がいのある人と一緒に、今日もせつせと街を耕して～

高崎 明 著
現代書館

「障がいのある人たちとは一緒に生きていったほうがトク!」というメッセージを様々な形で発信し、障がいのある人もない人も、お互いが暮らしやすい街を作る。そんな NPO 法人「ぶかぶか」の活動を紹介します。

2019:4./ 198p
978-4-7684-3571-7
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/06/08



アイヌのごはん～自然の恵み～

藤村 久和 著
デーリイマン社

食材そのものの味を生かすよう、シンプルな味付けで無駄なく調理し、そして「食べることを楽しむアイヌのごはん。北海道のお年寄りから手ほどきを受けた料理の一部を再現し、レシピとともに紹介する。

2019:4./ 127p
978-4-86453-058-3
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/06/08



万年筆バイブル(講談社選書メチエ 699)

伊東 道風 著
講談社

万年筆売り場のプロ集団が、万年筆の魅力を徹底解説。「自分だけの一本」の選び方から、万年筆の仕組み、国・地域別で見る万年筆の特徴まで網羅し、メールでは味わえない「書く愉しみ」へと誘う。

2019:4./ 205p
978-4-06-515358-1
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/08、読売新聞 2019/06/23



おまえの罪を白しろ

真保 裕一 著
文藝春秋

総理がらみの疑惑を糾弾されている代議士・宇田清治郎。その最中、3 歳の孫娘が誘拐された。犯人の要求は記者会見での「罪の告白」。保身のための駆け引きを模索する官邸サイドと戦う宇田一族。「家族の戦い」が始まる!

2019:4./ 313p
978-4-16-391004-8
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/06/08、読売新聞 2019/06/30



デジタル経済と税～AI 時代の富をめぐる攻防～

森信 茂樹 著
日本経済新聞出版社

GAF A による巧みな租税回避、シェアリングエコノミー、ギグエコノミーへの対応、ベーシックインカムの有効性…。デジタル経済が生み出す新たな富とその分配をめぐる攻防、論点、展望を税制問題の第一人者が幅広く解説する。

2019:4./ 285p
978-4-532-35816-7
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/06/08、日本経済新聞 2019/06/15



候補者ジェレミー・コービン～「反貧困」から首相への道～

アレックス・ナンズ、藤澤 みどり、荒井 雅子、坂野 正明 著
岩波書店

万年ヒラ議員から、まさかのイギリス労働党党首へ。ジェレミー・コービンを押し上げたのは、反緊縮のうねりのなか生まれた、SNS を駆使する新しい市民参加型政治運動だった。「コービン運動」の軌跡を追う。

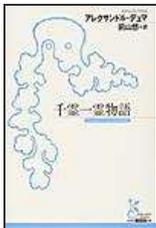
2019:4./ 8p,413p,7p

978-4-00-022963-0

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2019/06/08、日本経済新聞 2019/06/29



千霊一霊物語(光文社古典新訳文庫 KA テ 6-1)

アレクサンドル・デュマ 著

光文社

「女房を殺した」と市長宅に押しかけた男。その場に居合わせた作家デュマや市長たちは、彼の自宅を見に行くことに。その自供の妥当性をめぐる議論は、いつしか各人が見聞きした奇怪な出来事を披露しあう夜へと発展し…。

2019:5./ 403p

978-4-334-75400-6

本体 ¥1,020+税



朝日新聞 2019/06/09



教皇庁の使者～幻想小説～

服部 独美 著

国書刊行会

皇帝の身代りとして男性を失った宝茶は、不思議な操り人形芝居を演じる老人と知り合う。ホムンクルスの秘密、教皇庁から来た使者たちと船の秘儀…。全世界が鳥のとどまる一瞬の夢と現ざる、長篇幻想小説。

2019:5./ 274p

978-4-336-06357-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/06/09



境界の日本史～地域性の違いはどう生まれたか～(朝日選書 983)

森先 一貴、近江 俊秀 著

朝日新聞出版

地域と地域を隔てる境界が、さまざまな局面や背景で形成され、時代が下るほどに多様な意味を帯びていく過程に着目。日本列島の文化がなぜ豊かな多様性を維持してきたかを追究し、日本史をみつめなおす。

2019:4./ 310p

978-4-02-263083-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/06/15



朝日ざらい～よりよい世界のためのリベラル進化論～(朝日新書 671)

橘 玲 著

朝日新聞出版

朝日新聞に代表される戦後民主主義は、なぜ嫌われるのか。世界基準のリベラリズムから脱落しつつある日本の「リベラル」が再び希望をとり戻すには。現象としての「朝日ざらい」を読み解き、新しいリベラルの姿を論じる。

2018:6./ 254p

978-4-02-273092-3

本体 ¥810+税



朝日新聞 2019/06/15



ガリバー旅行記(角川文庫 ス 18-1)

ジョナサン・スウィフト、山田 蘭 著

角川グループパブリッシング

寝ている間に手足と体をしばられ、台車にのせられて小人国の都につれてこられたガリバー。小山のような人間に、都は大きすぎ！ 左足を鎖でつながれたガリバーは、小さな皇帝と会うが……。

2011:3./ 461p

978-4-04-298218-0

本体 ¥640+税



朝日新聞 2019/06/15



水は海に向かって流れる<1>(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社

高校への進学を機に、おじさんの家に居候することになった直達。男女 5 人での一つ屋根の下、奇妙な共同生活が始まったのだが、直達と榎さんとの間には思いもよらぬ因縁が...

2019:5./ 192p
978-4-06-514451-0
本体 ¥620+税



朝日新聞 2019/06/15



良い加減に生きる～歌いながら考える深層心理～(講談社現代新書 2522)

きたやま おさむ、前田 重治 著
講談社

いい加減に生きることを許されない現代、一度だけの人生を自分らしく創っていくには? 「あの素晴らしい愛をもう一度」「風」などの名曲を題材に、きたやまおさむと前田重治の 2 人の精神科医が日本人の生き方を問う。

2019:5./ 249p
978-4-06-516086-2
本体 ¥900+税



朝日新聞 2019/06/15



パスタざらい(新潮新書 809)

ヤマザキ マリ 著
新潮社

フィレンツェの絶品「貧乏料理」、シチリア島で?張った餃子...。イタリアに暮らして 35 年の著者が、胃袋で世界とつながった経験を美味しく綴る食文化エッセイ。フジ日本精糖株式会社ホームページ連載を加筆し書籍化。

2019:4./ 205p
978-4-10-610809-9
本体 ¥740+税



朝日新聞 2019/06/15



壹人両名～江戸日本の知られざる二重身分～(NHK ブックス 1256)

尾脇 秀和 著
NHK出版

ある時は百姓、ある時は侍-。江戸時代、自在に身分をまたぐ人々が全国に大勢いた。彼らはなぜ別人に成りすますのか? 名もなき人々の言動を生き生きと再現しながら、江戸時代特有の秩序観を浮かび上がらせる。

2019:4./ 294p
978-4-14-091256-0
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/15



ざんねんな食べ物事典

東海林 さだお 著
文藝春秋

食べ物に漂うそこはかとない“ざんねん”感を検証してみた表題作から「ラーメン行動学」まで、爆笑必至のショージ節エッセイ。村瀬秀信との対談も収録。『オール讀物』連載他を単行本化。

2019:5./ 239p
978-4-16-391022-2
本体 ¥1,350+税



朝日新聞 2019/06/15



虐殺ソングブック remix

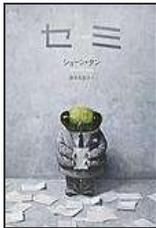
中原 昌也 著
河出書房新社

破壊の世界観で圧倒的な支持を集める中原昌也の作品を、朝吹真理子、柴崎友香、高橋源一郎、町田康、湯浅学など、各界の作家やアーティストが大胆にリミックス。中原昌也の魅力を解き放つ一冊。

2019:3./ 279p
978-4-309-02790-6
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/06/15



セミ

ショーン・タン、岸本 佐知子 著
河出書房新社

人間と一緒に会社で働くセミ。誰からも認められず昇進もせず、それでも 17 年間コツコツと働いてきたが、定年を迎え、仕事も家もお金もないセミは、ビルの屋上へ行き…。静かで過激な大人向け絵本。

朝日新聞 2019/06/15

2019:5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-29019-5

本体 ¥1,800+税



悪魔のトリック(祥伝社文庫 あ 40-1)

青柳 碧人 著
祥伝社

悪魔は、強い殺意を抱いた人間に一つだけ超自然的な能力を授けるといふ。不可思議な力と殺しはどうかつながらぬのか? 超難解、離れ業トリックに刑事 2 人が挑む! 『小説 NON』掲載に書下ろしを加えて文庫化。

朝日新聞 2019/06/15

2019:5./ 324p

978-4-396-34522-8

本体 ¥680+税



武器としての世論調査～社会をとらえ、未来を変える～(ちくま新書 1414)

三春 充希 著
筑摩書房

内閣支持率が高い地域では宗教信仰率が高い、野党支持は若年層で伸び悩み…。世論調査をもとに、どの地域に住む、どんな人が、どの政党を支持しているのかに迫るとともに、彼らに働きかけ、この社会を変える方法を考える。

朝日新聞 2019/06/15

2019:6./ 254p 図版 16p

978-4-480-07221-4

本体 ¥1,000+税



物語は人生を救うのか(ちくまプリマー新書 326)

千野 帽子 著
筑摩書房

人生はままならないもの。それを引き受け、困難を乗り越えるためには物語が必要だ。私たちの周りにあふれている物語とは何かを考える。「人はなぜ物語を求めのか」につながる本。『web ちくま』連載を加筆修正。

朝日新聞 2019/06/15

2019:5./ 217p

978-4-480-68351-9

本体 ¥840+税



ベルリンは晴れているか

深緑 野分 著
筑摩書房

1945 年 7 月、4 カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

朝日新聞 2019/06/15

2018:9./ 475p

978-4-480-80482-2

本体 ¥1,900+税



指名手配(創元推理文庫 Mク 23-3)

ロバート・クレイス、高橋 恭美子 著
東京創元社

連続窃盗容疑で逃亡中の少年を警察よりも先に確保せよ! だが調査を進める探偵・コールを嘲笑うかのように、何者かが先回りして少年の仲間を殺していた。そして少年の身にも危険が迫り…。「容疑者」「約束」に続く第 3 弾。

朝日新聞 2019/06/15

2019:5./ 496p

978-4-488-11507-4

本体 ¥1,360+税





超ロボット化社会～ロボットだらけの未来を賢く生きる～(B&T ブックス)

新山 龍馬 著

日刊工業新聞社

空飛ぶタクシー、ロボット物流、ペットロボット、ロボットで旅行…。東京大学でロボット研究を行っている著者が、未来の「超ロボット化社会」を描く。サイエンスライター・森山和道による解説も収録。

2019:4./ 173p

978-4-526-07976-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/15



ニッポン子育てしやすい会社～人を大切にできる会社は社員の子どもが多い～

坂本 光司、人を大切にできる経営学会 著

商業界

「子育てしやすい会社、だから業績好調」の真理とは？日本全国 8000 社を訪問・調査した結果から見つけた、「仕事と子育て」の両立企業 51 社を紹介する。社員のコメントも掲載。

2019:4./ 255p

978-4-7855-0547-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/15



イデオロギーと日本政治～世代で異なる「保守」と「革新」～

遠藤 晶久、ウィリー・ジョウ 著

新泉社

日本人の考えるイデオロギーの意味とは？日本人のイデオロギー認識はいつから変わったのか？55年体制の終焉とともに大変革期に入った日本政治を、イデオロギーと世代間ギャップから検証する。

2019:2./ 276p

978-4-7877-1903-4

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/06/15



チョムスキーと言語脳科学(インターナショナル新書 037)

酒井 邦嘉 著

集英社インターナショナル

言語機能は生得的だとする「生成文法理論」は正しいのか。チョムスキー著「統辞構造論」を詳説し、生成文法理論の核心となる<文法中枢>が脳内に存在することを、言語脳科学の実証実験で明らかにする。

2019:4./ 249p

978-4-7976-8037-9

本体 ¥860+税



朝日新聞 2019/06/15



100年かけてやる仕事～中世ラテン語の辞書を編む～

小倉 孝保 著

プレジデント社

2013年にイギリスで100年以上の年月をかけて完成した「中世ラテン語辞書」。生きているうちに完成を見ない仕事に、時間と精力を注ぎ込んだ人たちの営みから、人間の「働く意味」を追う。

2019:3./ 301p

978-4-8334-2315-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/06/15



コミックソングが J-POP を作った～軽薄の音楽史～(ele-king books)

矢野利裕 著

日販アイ・ピー・エス

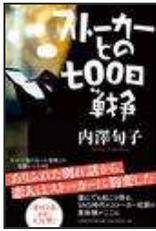
朝日新聞 2019/06/15

2019:5.

978-4-909483-26-3

本体 ¥2,100+税





ストーカーとの七〇〇日戦争

内澤 旬子 著
文藝春秋

ネットで知り合った男性との交際から 8 カ月。ありふれた別れ話から、恋人はストーカーに豹変した。執拗なメール、ネットでの誹謗中傷…。恐怖の神経戦を描いたリアルドキュメント。『週刊文春』連載を単行本化。

2019:5./ 351p
978-4-16-391028-4
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/06/15、読売新聞 2019/06/16



1本5000円のレンコンがバカ売れする理由(新潮新書 808)

野口 憲一 著
新潮社

レンコン農家に生まれ、民俗学者となった著者が、民俗学の知識を応用した戦略で実家の農家を大改革。目玉は1本5000円と超破格の値段のレンコン。「ブランド力最低」の茨城県から生まれた、痛快な戦略ストーリー。

2019:4./ 190p
978-4-10-610808-2
本体 ¥720+税



朝日新聞 2019/06/15、日本経済新聞 2019/06/22



ヒッキーヒッキーシェイク(ハヤカワ文庫 JA 1379)

津原 泰水 著
早川書房

ヒキコモリ支援センター代表の笠原丈吉は、「人間創りに参加してほしい」と顧客たちを連携させ、あるプロジェクトを始動する。ヒッキーたちの疑心はジェリーフィッシュを名乗る謎の暗鬼を生み…。

2019:6./ 408p
978-4-15-031379-1
本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/06/15、日本経済新聞 2019/06/29



昭和よ、
山藤 章二 著
岩波書店

元号が変わる節目を迎え、平成への思いを綴ろうとしたけれど、脳裏に浮かぶのは昭和の出来事ばかり。昭和を振り返りながら、82歳のいま思うことを、おなじみのひとり語り調で、包み隠さず書き下ろしたエッセイ集。

2019:4./ 10p,169p
978-4-00-061333-0
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/06/22



明治生まれの日本語(角川ソフィア文庫 E113-1)

飛田 良文 著
KADOKAWA

私たちの日本語には、150年前には誰も知らなかった明治の新語、流行語があふれている。「時間」「世紀」「恋愛」「常識」「科学」など、意外に新しい言葉たちの誕生の秘密に、国語辞典の編纂で知られる第一人者が迫る。

2019:6./ 254p
978-4-04-400478-1
本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/06/22



宝島〜HERO's ISLAND〜

真藤 順丈 著
講談社

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。彼らは警官になり、教師になり、テロリストになり、同じ夢に向かった。青春と革命の一大叙事詩。『小説現代』掲載を単行本化。

2018:6./ 541p
978-4-06-511863-4
本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2019/06/22



沖縄アンダーグラウンド～売春街を生きた者たち～

藤井 誠二 著
講談社

浄化運動で消された沖縄の「売春街」。売春に従事する女性、風俗店経営者、ヤクザなどに取材した著者が、彼らの肉声を描き出し、街の内実と市民社会からの偏見の構造を明らかにする。沖縄のもう一つの戦後史。

朝日新聞 2019/06/22

2018:9./ 347p
978-4-06-512827-5
本体 ¥2,000+税



モナリザの微笑(ほほえみ)～ハクスレー傑作選～(講談社文芸文庫 ハB1)

オルダス・ハクスレー 著
講談社

博覧強記と審美眼で 20 世紀文学に特異かつ確固たる地位を占めるハクスレーの本領を示す短篇集。3 人の女性との恋愛が徐々にミステリ色を帯びる「モナリザの微笑」をはじめ、「天才児」「チョードロン」など全 5 編を収録する。

朝日新聞 2019/06/22

2019:6./ 284p
978-4-06-516280-4
本体 ¥1,600+税



安楽死を遂げた日本人

宮下 洋一 著
小学館

スイスでの安楽死を希望する難病の女性。それを実現するにはハードルが高かったが、彼女の思いは海を越え、人々を動かしていった…。安楽死を求める人々と関係者を取材したルポルタージュ。「安楽死を遂げるまで」の続編。

朝日新聞 2019/06/22

2019:6./ 349p
978-4-09-389782-2
本体 ¥1,600+税



不良少年とキリスト(新潮文庫 さ-2-4)

坂口 安吾 著
新潮社

1948 年 6 月 13 日、太宰治が情死する。逸早く知らせを受けた坂口安吾は、その死に何を見たか。太宰論から文明論に至る表題作をはじめ、評論、座談会、掌編小説「復員」などを収録する。

朝日新聞 2019/06/22

2019:6./ 253p
978-4-10-102404-2
本体 ¥490+税



「身軽」の哲学(新潮選書)

山折 哲雄 著
新潮社

人はなぜ、後半生になると重荷を下ろしたくなるのか。人生の折り返し点を過ぎ、歌や句にますます傾倒して軽やかな自由の世界に遊んだ西行、親鸞、芭蕉、良寛から、「解放」の生き方を学ぶ。

朝日新聞 2019/06/22

2019:5./ 221p
978-4-10-603839-6
本体 ¥1,200+税



資本主義と民主主義の終焉～平成の政治と経済を読み解く～(祥伝社新書 570)

水野 和夫、山口 二郎 著
祥伝社

見えてきたのは、日本が資本主義を“卒業”していく過程であり、政治が大きく変質・劣化していく様だった。平成 31 年間に 6 つの時代に分けて分析。そのうえで平成を総括し、今後を予測・提言する。

朝日新聞 2019/06/22

2019:5./ 258p
978-4-396-11570-8
本体 ¥840+税





京都怪談巡礼

堤 邦彦 著
淡交社

「生首と旅する僧」「おみつの怨霊」…。近世怪談研究の泰斗である著者が、とっておきの京都怪談を紹介。京都怪談文芸の舞台を取材した「怪談フィールドワーク」、『幻想文学』『幽』の編集長を歴任した東雅夫との対談も収録。

朝日新聞 2019/06/22

2019:6./ 207p
978-4-473-04320-7

本体 ¥1,600+税



ヤンキーと地元～解体屋、風俗経営者、ヤミ業者になった沖縄の若者たち～

打越 正行 著
筑摩書房

沖縄のヤンキーたちはどのような現実を生きているのか。生きていくために建設業や性風俗業、ヤミ仕事に就いた若者たちと 10 年以上つき合った社会学者による調査の記録。地元社会の過酷な掟を描く。

朝日新聞 2019/06/22

2019:3./ 302p
978-4-480-86465-9

本体 ¥1,800+税



体罰と戦争～人類のふたつの不名誉な伝統～

森田 ゆり 著
かもがわ出版

体罰と戦争で傷つき、死ぬ子どもたち。体罰は「しつけのため」、戦争は「国を守るため」。人類はこの悪しき伝統をいつ、止めるのだろうか。暴力とは何かを問い続けてきた著者が、人間のいのちと尊厳を考える。

朝日新聞 2019/06/22

2019:4./ 261p
978-4-7803-0986-7

本体 ¥2,400+税



犬を愛した男(フィクションのエル・ドラード)

レオナルド・パドゥーラ 著
水声社

1977 年のハバナ、獣医学雑誌の校正の仕事に身をやつしている物書きのイバンは、ボルゾイ犬を連れて散歩する男と出会う。犬の話題で親密になる 2 人。やがて男は彼のみぞ知る<トロツキー暗殺の真相>を打ち明けはじめ…。

朝日新聞 2019/06/22

2019:4./ 674p
978-4-8010-0269-2

本体 ¥4,000+税



テキストと映像がひらく教育学

倉石 一郎 著
昭和堂

スクールカースト、教師と生徒の人間関係、学校システム…。教育学上の問題を、その主題に沿った小説・報告書・上申書などのテキストや映画を味わいながら、それらを手がかりに深く考察する。

朝日新聞 2019/06/22

2019:4./ 14p,302p
978-4-8122-1806-8

本体 ¥2,800+税



日本の色彩百科～明治・大正・昭和・平成～

城 一夫 著
青幻舎

明治、大正、昭和、平成の各時代を色彩をキーワードとして概観。景観、ファッション、インテリア、プロダクト、グラフィック、アートなどの各分野の色彩を取り上げる。明治以降の流行カラーサンプルも掲載。

朝日新聞 2019/06/22

2019:6./ 224p
978-4-86152-734-0

本体 ¥2,800+税





虹の鳥

目取真 俊 著
影書房

基地の島に連なる憎しみと暴力。その姿を目にできれば全てが変わるという、幻の虹の鳥を求め、夜の森へ疾走するふたり。鋭い鳥の声は今、オキナワの闇を引き裂く。救い無き現実の極限を描く、瞠目の長篇。

朝日新聞 2019/06/22

2017:5./ 220p
978-4-87714-471-5
本体 ¥1,800+税



公正を問う近代日本史

佐藤 健太郎、荻山 正浩、山口 道弘、青木 健 著
吉田書店

近代日本を対象に、歴史学に於ける「公正」を主題とした研究成果をまとめる。「経済と制度」「政治と外交」「地域と民衆」「思想と学説」の4部構成で、多数の論文を収録。

朝日新聞 2019/06/22

2019:3./ 559p
978-4-905497-74-5
本体 ¥4,800+税



沖縄戦を知る事典～非体験世代が語り継ぐ～

吉川 由紀 編
吉川弘文館

「鉄の暴風」が吹き荒れた沖縄戦。その戦闘経過、「集団自決」の実態など、67項目を収録した読む事典。体験者の証言や戦争遺跡・慰霊碑などの理解を高める写真を豊富に交え、“なぜ今沖縄戦か”を問いかける。

朝日新聞 2019/06/22、毎日新聞 2019/06/23

2019:5./ 13p,204p
978-4-642-08352-2
本体 ¥2,400+税



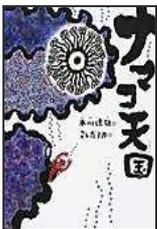
平成家族～理想と現実の狭間で揺れる人たち～

朝日新聞取材班 著
朝日新聞出版

変わりゆく現実、追いつかない意識-。結婚、食、働き方、出産などをテーマに、古い制度と新たな価値観の狭間を生きる「平成時代の家族」の姿を追う。『withnews』連載等を書籍化。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 278p
978-4-02-331783-3
本体 ¥1,400+税



ナマコ天国

本川 達雄 著
偕成社

ナマコは逃げない、隠れない。2つに切れれば2匹に増える!?これが、ナマコの生きる道。人間やほかの動物たちとはまるでちがうナマコの生態を、楽しく描きます。本川達雄作詞・作曲「超人!?ナ・マーコ」の楽譜つき。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 44p
978-4-03-437270-8
本体 ¥1,600+税



探偵はぼっちじゃない

坪田 侑也 著
KADOKAWA

ふたりの中学生とひとりの新米教師、それぞれの屈託多き日々に降りかかった「謎」がやがてひとつとなったとき、何が起ころのか? 著者が中学3年の夏休みに書いた、瑞々しくも企みに満ちたミステリ。

朝日新聞 2019/06/29

2019:3./ 347p
978-4-04-107756-6
本体 ¥1,600+税





三鬼～三島屋変調百物語四之続～(角川文庫 み 28-54)

宮部 みゆき 著
KADOKAWA

一度に一人の語り手を招き入れての変わり百物語も評判の、神田・三島屋。訪れる客の身の処し方を感じ入る聞き手のおちかの身に、心ゆるる出来事が…。全 4 話を収録。シリーズ第 4 弾。

朝日新聞 2019/06/29

2019:6./ 671p
978-4-04-107761-0

本体 ¥960+税



空に牡丹(小学館文庫 お 27-6)

大島 真寿美 著
小学館

せっかく生まれたんだもの、生きてるうち、綺麗なものをたくさん見たいよなあ。時は明治。花火とともに語られる、儂さゆえの美しさを一途に追いかけた男と、その一族のファミリーヒストリー。

朝日新聞 2019/06/29

2019:6./ 315p

978-4-09-406649-4

本体 ¥730+税



明治乙女物語(文春文庫 た 103-1)

滝沢 志郎 著
文藝春秋

明治中期、高等師範学校女子部に通う夏と咲たちは、鹿鳴館の舞踏会に招待を受ける。そこには暴徒の魔の手が忍び寄っていて…。女に学問はいらぬという世相にあらがいつつ躍動する“戦う乙女”たちを描く。

朝日新聞 2019/06/29

2019:6./ 365p

978-4-16-791296-3

本体 ¥800+税



普通の人びと～ホロコーストと第 101 警察予備大隊～ 増補(ちくま学芸文庫 フ 42-1)

クリストファー・R.ブラウニング 著
筑摩書房

ごく平凡な人びとが無抵抗なユダヤ人を並べ立たせ、ひたすら銃殺しつづける。第 101 警察予備大隊によるナチ・ホロコーストの実態と、彼らを大量虐殺へと導いたメカニズムに迫る。原著最新版より、増補分をあらたに訳出。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 521p

978-4-480-09920-4

本体 ¥1,600+税



イタリアン・シューズ

ヘニング・マンケル、柳沢 由実子 著
東京創元社

ひとり離れ小島に住む元医師フレドリックの元に、37 年前に捨てた恋人ハリエットがやってくる。治らぬ病に冒された彼女の願いをかなえるべく、フレドリックは島をあとにするが…。孤独な男の贖罪と再生、そして希望の物語。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 349p

978-4-488-01087-4

本体 ¥1,900+税



東京貧困女子。～彼女たちはなぜ躓いたのか～

中村 淳彦 著
東洋経済新報社

女子大生、派遣社員、シングルマザー…貧困に喘ぐ東京暮らしの女性たちの心の叫びを、「個人のお話」として紹介。問題解決の糸口を探る。『東洋経済オンライン』連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 350p

978-4-492-26113-2

本体 ¥1,500+税





1分ほん〜どれがすき?〜

accototo 著
ポプラ社

1話1分以内で読み聞かせができる、0・1歳向けのアンソロジー絵本。「どうぶつ」「のりもの」「たべもの」など、子どもたちが大好きなテーマのおはなしを豊富に収録する。読み方のポイントも掲載。

朝日新聞 2019/06/29

2019:3./ 175p
978-4-591-16217-0
本体 ¥1,650+税



新釈漢文大系<詩人編 4> 李白〔上〕

和田 英信 著
明治書院

中国の古典詩を代表する詩人の作品を、伝統的な訓読、美しい日本語による明解な現代語訳、理解・鑑賞に役立つ解説により、現代によみがえらせる。詩人編4は、官能の喜びを高らかに歌い上げた李白の詩を取り上げる。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 8p,462p
978-4-625-67326-9
本体 ¥10,000+税



新釈漢文大系<詩人編 6> 杜甫〔上〕

川合 康三 著
明治書院

中国の古典詩を代表する詩人の作品を、伝統的な訓読、美しい日本語による明解な現代語訳、理解・鑑賞に役立つ解説により、現代によみがえらせる。詩人編6は、苦難に抗して人はいかにあるべきかを問うた杜甫の詩を取り上げる。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 8p,532p
978-4-625-67327-6
本体 ¥10,000+税



皇位継承の中世史〜血統をめぐる政治と内乱〜(歴史文化ライブラリー 483)

佐伯 智広 著
吉川弘文館

皇位の父子継承は、いつからどのように行われたのか。天皇親政から院政、鎌倉幕府滅亡、南北朝内乱まで、目まぐるしく展開した中世政治史を、天皇と権力・親族との関係を軸に明快に描き出す。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 11p,201p
978-4-642-05883-4
本体 ¥1,700+税



あしたはきっと

BL出版

あしたはきっと、空がみえるよ。ひよつとすると、青空かも。あしたはきっと、いいにおいであうよ。みたこともない、なまえもしらない花の。あしたはきっと、最高よ。そんな世界にあなたはいるんだから。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 33p
978-4-7764-0909-0
本体 ¥1,600+税



なぜ女性管理職は少ないのか〜女性の昇進を妨げる要因を考える〜(青弓社ライブラリー 96)

日本女子大学現代女性キャリア研究所 編
大沢 真知子 著
青弓社

女性が管理職になれない・なりたがらない要因とは。男性中心のリーダーシップ像や女性が抱える心理的な葛藤、職場に根強い差別等をインタビューや統計から明らかにし、公平な評価制度や新たなリーダーシップ像の確立を訴える。

朝日新聞 2019/06/29

2019:3./ 207p
978-4-7872-3450-6
本体 ¥1,600+税





変貌する恋愛と結婚～データで読む平成～(成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書)

川端 健嗣 編
新曜社

少子化が続く平成時代。男女の恋愛・結婚事情はどう変化したのか? 12000 人のビッグデータから、その多様性と不平等を実証的に解明する。日本における初めての大規模恋愛レポート。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 278p
978-4-7885-1630-4

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 7 8 8 5 1 6 3 0 4 *



桐山襲全作品<1>

桐山 襲 著
作品社

疾風のように時代を駆け抜け、鮮烈な軌跡を刻んだ作家・桐山襲の全集。1 は、未発表作品「祭りの準備」ほか、「パルチザン伝説」「風のクロニクル」など、小説・戯曲、評論・エッセイ等を収録する。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 605p
978-4-86182-745-7

本体 ¥6,800+税



* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 7 4 5 7 *



桐山襲全作品<2>

桐山 襲 著
作品社

疾風のように時代を駆け抜け、鮮烈な軌跡を刻んだ作家・桐山襲の全集。2 は、遺稿「望みなきときにも」ほか、「亜熱帯の涙」「学校怪談」「永山則夫の孤独」など、小説、評論・エッセイ等を収録する。

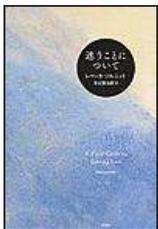
朝日新聞 2019/06/29

2019:6./ 569p
978-4-86182-746-4

本体 ¥6,800+税



* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 7 4 6 4 *



迷うことについて

レベッカ・ソルニット、東辻 賢治郎 著
左右社

ソクラテスはいう。未知を知ることができるのはそれを思い出しているからだ。著者自身の個人史と世界史の両方に分け入りながら、迷いと痛みの中のなかに光を見つける、哲学的思索の書。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 233p
978-4-86528-234-4

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 8 6 5 2 8 2 3 4 4 *



セレモニー

王 力雄、金谷 謙 著
藤原書店

国家安全委員会弁公室の蘇主任は、全国民を監視する IT 技術を駆使して、極秘の計画をスタートさせる。それは自身が“上”へと這い上がるための周到な計画だったが…。反体制派の著名作家による、中国未公開の問題作。

朝日新聞 2019/06/29

2019:4./ 441p
978-4-86578-222-6

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 2 2 2 6 *



エジソン～ネズミの海底大冒険～

トーベン・クルマン、金原 瑞人 著
ブロンズ新社

ネズミ大学の教授のもとへ、子ネズミのピートが「先祖がのこした宝さがしを手伝ってほしい」とたずねてくる。ピートの好奇心と教授の知識で、やがて宝のありかをつきとめるが、それはなんと、大西洋の海に沈んだ船のなかで…。

朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89309-658-6

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 8 9 3 0 9 6 5 8 6 *



平成時代(岩波新書 新赤版 1777)

吉見 俊哉 著
岩波書店

平成の30年は「壮大な失敗」、今後も続く「失われる半世紀」への序曲であった…。経済、政治、社会、文化でこの30年間、何がおきたのか。社会学者が「ポスト戦後社会」の先に待っていた空虚な現実を総括する。

2019:5./ 3p,251p,26p

978-4-00-431777-7

本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2019/06/02



アダム・スミスはブレグジットを支持するか?～12人の偉大な経済学者と考える現代の課題～

リンダ・ユー、久保 恵美子 著
早川書房

ブレグジット、トランプ現象への処方箋は? アダム・スミスからロバート・ソローまで12人の経済学者の思想と業績を読み解き、現代の課題解決策を探る。BBCなどで活躍する女性エコノミストによる経済思想&現代経済入門。

2019:4./ 415p

978-4-15-209856-6

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2019/06/02



漱石と熊楠～同時代を生きた二人の巨人～

三田村 信行 著
鳥影社

同時代を生きながらまったくかけはなれたコースを歩んだ夏目漱石と南方熊楠には、人生上の共通体験が多くあった。猫、少年期からイギリス体験、家庭生活、終焉まで、二人の巨人の生涯を並列させて描く。

2019:4./ 401p

978-4-86265-739-8

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2019/06/02



しょぼい喫茶店の本

池田 達也 著
百万年書房

東京・新井薬師に実在する「しょぼい喫茶店」という名前の喫茶店。就職活動に失敗した著者が、その店を作るまでと、作ってからを綴った実話。イラストも掲載する。

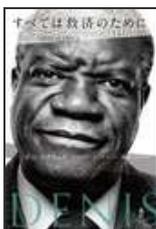
2019:4./ 195p

978-4-9910221-7-3

本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2019/06/02、朝日新聞 2019/06/08



すべては救済のために～デニ・ムクウェゲ自伝～

デニ・ムクウェゲ、ベッティル・オーケルンド、加藤 かおり 著
あすなろ書房

コンゴでは女性への性暴力が最大の武器になっている。紛争が続くコンゴ東部で、何度も死の危険にさらされながらも、性暴力被害女性の支援に取り組み、そして国際社会を動かした産婦人科医の自伝。

2019:4./ 295p

978-4-7515-2935-5

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2019/06/02、日本経済新聞 2019/06/15



武道館(文春文庫 あ68-2)

朝井 リョウ 著
文藝春秋

武道館ライブの実現を目指して活動するアイドルグループ「NEXT YOU」。恋愛禁止、スルースキル、特典商法、握手会、卒業…。成長する彼女たちをシビアかつ熱を持った視線で描いた長編小説。

2018:3./ 363p

978-4-16-791028-0

本体 ¥670+税



東京・中日新聞 2019/06/09



帝国ホテル建築物語

植松 三十里 著
PHP研究所

世界的建築家ライトの飽くなきこだわり、経営陣の追及、関東大震災…。1923年(大正12年)に完成した帝国ホテル旧本館「ライト館」の建築にかけた男たちの熱い闘いを描いた長編小説。『歴史街道』連載に加筆・修正。

東京・中日新聞 2019/06/09

2019:4./ 333p
978-4-569-84276-9
本体 ¥1,800+税



考えるヒット～テーマはジャニーズ～

近田 春夫 著
スモール出版

SMAPの連係の妙、変幻自在の嵐の新サウンド、良くも悪くも“大人”になった関ジャニ…。平成の音楽シーンを、ジャニーズの楽曲を軸に読む。『週刊文春』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

東京・中日新聞 2019/06/09

2019:2./ 317p
978-4-905158-62-2
本体 ¥1,600+税



ピカソとの日々

フランソワーズ・ジロー、カールトン・レイク、野中 邦子 著
白水社

間近で見た創作の秘密、芸術観、交友関係、そして恋愛…。巨匠ピカソの素顔を明かす、フランソワーズ・ジローの回想録。ともに生きた10年間を克明に記録しながら、ひとりの女性としての成長を綴る。モノクロ絵も多数収録。

東京・中日新聞 2019/06/09、朝日新聞 2019/06/15

2019:4./ 335p,8p 図版
32p
978-4-560-09680-2
本体 ¥6,000+税



平成経済衰退の本質(岩波新書 新赤版 1769)

金子 勝 著
岩波書店

バブルとバブルの崩壊から始まり、その後の「失われた30年」は日本の産業競争力を決定的に落とした。未来を先取りした政策提案を行ってきた著者が、反グローバルイズム、脱原発成長論などをキー概念に、平成時代を総括する。

東京・中日新聞 2019/06/09、朝日新聞 2019/06/15、毎日新聞 2019/06/30

2019:4./ 9p,216p
978-4-00-431769-2
本体 ¥820+税



人類、宇宙に住む～実現への3つのステップ～

ミチオ・カク、斎藤 隆央 著
NHK出版

月や火星に入植し、次に太陽系外の星々へ進出。それと同時に人体の改造や能力の強化を行う。世界的な理論物理学者で、未来学者としても定評のある著者が、宇宙移住への道を3つのステップで解説する。

東京・中日新聞 2019/06/09、朝日新聞 2019/06/22、日本経済新聞 2019/06/29

2019:4./ 450p
978-4-14-081776-6
本体 ¥2,500+税



バブル経済事件の深層(岩波新書 新赤版 1774)

奥山 俊宏、村山 治 著
岩波書店

バブルの絶頂に始まり、その崩壊、その後の後始末に費やされた平成の30年。戦後日本の経済統治体制を突き崩し、金融システムを揺るがせた時代の重要事件を、新証言や未公開資料を発掘し、新たな視点から再検証を試みる。

東京・中日新聞 2019/06/16

2019:4./ 2p,308p
978-4-00-431774-6
本体 ¥820+税





「反緊縮!」宣言

松尾 匡 編

池田 香代子、井上 智洋、梶谷 懐、岸 政彦、西郷 南海子、朴 勝俊、宮崎 哲弥、森永 卓郎、ヤニス・バルファキス、プログレッシブ・インターナショナル 著
亜紀書房

日本の経済・社会を破壊した「緊縮」財政主義を超えて、いまこそ未来への希望を語ろう。政府が積極的に財政支出をして、人びとの暮らしを豊かにする「反緊縮」という考え方を、多くの著名人や専門家の論考を通して伝える。

東京・中日新聞 2019/06/16

2019:5./ 273p

978-4-7505-1589-2

本体 ¥1,700+税



AI社会の歩き方～人工知能とどう付き合うか～(DOJIN 選書 80)

江間 有沙 著

化学同人

人工知能が社会に浸透するとき、起こる変化とは。「人工知能と社会」というテーマで、どんな人やコミュニティが何を議論しているのか、その舞台裏も含めて整理。楽観論でも悲観論でもない、人工知能との付き合い方を考える。

東京・中日新聞 2019/06/16

2019:2./ 266p

978-4-7598-1680-8

本体 ¥2,000+税



親の「死体」と生きる若者たち

山田 孝明 著

青林堂

80代の親と50代のひきこもり。ともに高齢化する親子の行き着く先には、親の死体と一時を生きる子供たちがいた。急増する「8050問題」の実態に迫るノンフィクション。

東京・中日新聞 2019/06/16

2019:3./ 208p

978-4-7926-0651-0

本体 ¥1,400+税



ナショナリズムと相克のユーラシア～ヨーロッパ帝国主義の負の遺産～

宮田 律 著

白水社

ヨーロッパの膨張主義と中東イスラム世界の半植民地化、ポスト冷戦期の確執と衝突…。中東・ヨーロッパに偏在するさまざまな対立軸を俯瞰し、戦争の根源となっているナショナリズムの思想と歴史的展開を明らかにする。

東京・中日新聞 2019/06/23

2019:4./ 309p

978-4-560-09662-8

本体 ¥2,600+税



椿宿の辺りに

梨木 香歩 著

朝日新聞出版

三十肩と鬱で難儀している皮膚科学者の山幸彦。外祖母・早百合の夢枕に立った祖父からの伝言を託され、山幸彦は祖先の地・椿宿へと向かう…。『f 植物園の巣穴』の姉妹編。『小説トリッパー』連載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2019/06/23、日本経済新聞 2019/06/29

2019:5./ 301p

978-4-02-251610-7

本体 ¥1,500+税





つみびと

山田 詠美 著
中央公論新社

灼熱の夏、彼女はなぜ幼な子 2 人を置き去りにしたのか? 追い詰められた母親、死に行く子どもたち…。痛ましい事件の深層に分け入る、迫真の長編小説。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/06/23、日本経済新聞 2019/06/29

2019:5./ 366p
978-4-12-005192-0
本体 ¥1,600+税



三島由紀夫スポーツ論集(岩波文庫 31-219-3)

三島 由紀夫、佐藤 秀明 編
三島 由紀夫 著
岩波書店

ボディ・ビルやボクシング、剣道を実践した三島由紀夫による、各種スポーツやオリンピックの観戦記、随想を集成。肉体と精神、言葉と行動を論じて、自己の思想を表現した告白的批評「太陽と鉄」も併録する。

東京・中日新聞 2019/06/30

2019:5./ 329p
978-4-00-312193-1
本体 ¥740+税



限界病院

久間 十義 著
新潮社

過疎地域にあるバトラー病院は深刻な財政危機を抱えていた。新任院長は大胆な改革案を打ち出そうとするが…。危機に瀕する地方病院を舞台にさまざまな思惑が蠢く医療長編。インターネットサイト『m3.com』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2019/06/30

2019:5./ 386p
978-4-10-391804-2
本体 ¥2,100+税



ホロヴィッツ・ピアノの秘密～調律師がピアノをプロデュースする～

高木 裕 著
音楽之友社

巨匠ホロヴィッツがこよなく愛したピアノ、スタインウェイ<CD75>と、他のスタインウェイの違いとは。ペールに包まれていたホロヴィッツのピアノの詳細を明らかにする。『音楽の友』連載を抜粋、校正、加筆して単行本化。

東京・中日新聞 2019/06/30

2019:5./ 191p
978-4-276-21059-2
本体 ¥1,800+税



彼女が好きなものはホモであって僕ではない

浅原 ナオト 著
KADOKAWA

血の?がった家族が欲しい。愛する人とひとつになりたい。欲しいのは「当たり前の幸せ」。だけど、僕は-。同性愛者であることを隠す少年と、腐女子の少女が織り成す、純粋でねじくれた想いが胸を打つ青春小説。

読売新聞 2019/06/02

2018:2./ 319p
978-4-04-072513-0
本体 ¥1,200+税



メタモルフォーゼの縁側<1>(単行本コミックス)

鶴谷 香央理 著
KADOKAWA

たまたま立ち寄った書店、たまたま手にした一冊。そして始まる新しい物語-。これは75歳の老婦人と17歳の書店員が織りなすやさしく心に沁みる物語。

読売新聞 2019/06/02

2018:5./ 139p
978-4-04-106830-4
本体 ¥780+税





伝える人、永六輔～『大往生』の日々～

井上 一夫 著
集英社

ベストセラーとなった「大往生」。本作りの日々を共にし、「ラジオ」と「旅」を源泉とする「知恵の言葉」のありようを探った当時の担当編集者が、現場にいたからこそ見えた永六輔の実像を、豊富なエピソードを交えて語る。

2019:3./ 251p
978-4-08-781656-3
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/02



やぶれかぶれ青春記・大阪万博奮闘記(新潮文庫 二-8-12)

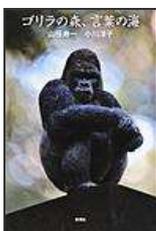
小松 左京 著
新潮社

作家・小松左京の原点を知る上で必読のテキスト。戦時下の旧制中学時代と戦後の旧制高校生活を描いた自伝的青春小説「やぶれかぶれ青春記」ほか、ブレーンとして関わった大阪万博について綴った手記を収録。

2018:10./ 395p
978-4-10-109712-1
本体 ¥630+税



読売新聞 2019/06/02



ゴリラの森、言葉の海

山極 寿一、小川 洋子 著
新潮社

物語の森を知る作家・小川洋子とゴリラの眼を持つ霊長類学者・山極寿一が、京都で、屋久島で語り尽くす。ゴリラを通して現代に生きるヒトの姿が鮮やかに浮かび上がる、知のフィールドワーク。『新潮』ほか掲載に加筆し書籍化。

2019:4./ 219p
978-4-10-401308-1
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/06/02



ノースライト

横山 秀夫 著
新潮社

一級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし、Y 邸に越してきたはずの家族の姿はなく、一脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。Y 邸で何が起きたのか？ 一家の行方は…。『旅』連載を単行本化。

2019:2./ 429p
978-4-10-465402-4
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/06/02



内なる辺境/都市への回路(中公文庫 あ 18-5)

安部 公房 著
中央公論新社

現代の異端の本質を考察した連作エッセイ「内なる辺境」、芸術観のすべてを語った「都市への回路」。前衛作家の創造の核心を知りうる好著の合本。著者撮影の写真も多数掲載する。

2019:4./ 345p
978-4-12-206437-9
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/06/02



プラスチック・フリー生活～今すぐできる小さな革命～

シャンタル・ブラモンドン、ジェイ・シンハ、服部 雄一郎 著
NHK出版

使い続けても本当に安全？ 15 種類のプラスチックを添加されている化学物質と共に徹底解説し、プラスチックの日用品を 8 割近く減らす簡単な行動や様々な代替品について紹介する。<プラスチック・フリー生活>の入門ガイド。

2019:5./ 300p
978-4-14-081778-0
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/02



ニューヨークの魔法は終わらない(文春文庫 お41-9)

岡田 光世 著
文藝春秋

道を聞けば皆、口を出す。地下鉄のホームで他人同士が踊り始める。心と心が通い合った時、“魔法”が生まれる。個性的すぎる人たちに笑い、泣いたあと、無性にNYに行きたくなる。「ニューヨークの魔法」シリーズ最終巻。

2019:5./ 235p
978-4-16-791285-7

本体 ¥830+税



読売新聞 2019/06/02



亡命者たちの上海楽壇～租界の音楽とバレエ～(オルフェ・ライブラリー)

井口 淳子 著
音楽之友社

近年、公開やデータベース化が進む上海租界発行の外国語新聞を通して、1920?40年代の上海租界の楽壇、亡命者たちによる音楽とバレエの実態を描き出す。コラムも多数収録。

2019:2./ 236p,11p
978-4-276-37112-5

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/06/02



日本万国博覧会パビリオン制服図鑑～EXPO'70 GIRLS COLLECTION～(らんぶの本)

大橋 博之 著
河出書房新社

1970年、大阪・千里丘陵に「大阪万博」という巨大な未来都市が出現。そこにはまぶしいばかりのファッションに身を包んだ女性たちがいた。当時の写真を豊富にあげながら、各パビリオンの制服を紹介する。

2010:6./ 111p
978-4-309-72772-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/02



美術の国の自由市民～矢代幸雄とバーナード・ベレンソンの往復書簡～

矢代 幸雄、バーナード・ベレンソン、山梨 絵美子、越川 倫明 著
玉川大学出版部

美術史家・矢代幸雄と、その恩師であるイタリア・ルネサンス絵画のカリスマ的鑑定家・バーナード・ベレンソンの、1923(大正 12)年?1959(昭和 34)年の、英文の往復書簡 114 通を翻訳。2 編の論考も収録する。

2019:3./ 389p,19p
978-4-472-40555-6

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2019/06/02



オリンピックと万博～巨大イベントのデザイン史～(ちくま新書 1308)

暮沢 剛巳 著
筑摩書房

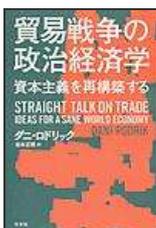
デザインは国家戦略なのか。戦後に「デザイン」という概念が定着していく過程から説き起こし、五輪と万博という巨大国家プロジェクトのデザインと、そこに貢献した丹下健三、亀倉雄策らの群像を追う。

2018:2./ 270p
978-4-480-07116-3

本体 ¥860+税



読売新聞 2019/06/02



貿易戦争の政治経済学～資本主義を再構築する～

ダニ・ロドリック、岩本 正明 著
白水社

世界を代表するグローバリゼーションの論客が、近年の国際社会の大きな変化を踏まえながら、国際貿易を中心に、幅広いテーマを政治学と経済学の立場から論じる。一般読者向けに書いた論考の中から、人気の高かったものを収録。

2019:3./ 317p,23p
978-4-560-09688-8

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/06/02



現代の職人～質を極める生き方、働き方～(PHP 新書 1184)

早坂 隆 著
PHP研究所

日本の職人の手による甲冑や陶器、日本酒などが世界の人びとを惹き付けてやまないのはなぜなのか。全国 11 の地域で働く職人の、質を極める生き方・働き方を紹介する。『Voice』連載を新書化。

2019:4./ 202p
978-4-569-84290-5
本体 ¥860+税



読売新聞 2019/06/02



山棲みの記憶～ブナの森の恵みと山里の暮らし～(ヤマケイ文庫)

根深 誠 著
山と溪谷社

狩猟、釣り、山菜採り、炭焼き、林業、開拓…。北東北の山里に生きる人々の姿を描いたルポルタージュ。今や失われつつある山の民の暮らしを訪ね、豊かな山野の恵みと共生した生活文化の記憶をたどる。

2019:4./ 302p
978-4-635-04867-5
本体 ¥900+税



読売新聞 2019/06/02



百鬼園戦前・戦中日記<上>

内田 百間 著
慶應義塾大学出版会

内田百間の生誕 130 年を記念して、未発表日記を含む、昭和 11 年 1 月 1 日から「東京焼盡」へと続く昭和 19 年 10 月末日までの日記を公開。「極めて特異な作家」による戦前・戦中の日常の貴重な記録。

2019:5./ 400p
978-4-7664-2603-8
本体 ¥4,500+税



読売新聞 2019/06/02



大阪万博～20 世紀が夢見た 21 世紀～(Shogakukan Creative Visual Book)

平野 暁臣 著
小学館クリエイティブ

1970 年に開催されたアジア初の万博、「大阪万博」。6400 万人が押し寄せた会場には 183 日間にわたる多彩なドラマがあった。記憶に残るシーン、バビリオン、テーマ館を写真で紹介する。大阪万博の裏面史、資料も公開。

2014:3./ 351p
978-4-7780-3767-3
本体 ¥4,900+税



読売新聞 2019/06/02



遺伝子・多様性・循環の科学～生態学の領域融合へ～

立木 佑弥 編
京都大学学術出版会

生物と環境との相互作用の中で、どのような遺伝子が残って進化が起きるのか。進化と生物多様性はいかに関わっているのか。進化と群集と生態系の交差から生まれるこれからの生態学を展望し、地球と生命の未来を考える。

2019:3./ 5p,432p
978-4-8140-0190-3
本体 ¥3,700+税



読売新聞 2019/06/02



あそびうたするものこのゆびとまれ(日本傑作絵本シリーズ)

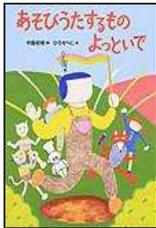
中脇 初枝 編
ひろせ べに 著
福音館書店

あそびうたがはじまるよ! さそいうた、えらびうた、おまじないうた…。子どもたちによってうたい継がれてきたあそびうたの中から、とっておきのうたを、楽しい絵とともに紹介します。あそび方の説明も掲載。

2019:4./ 87p
978-4-8340-8458-0
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/02



あそびうたするものよっといで(日本傑作絵本シリーズ)

中脇 初枝 編
ひろせ べに 著
福音館書店

あそびうたするもの、あつまれ! さそいうた、てあそびうた、かぞえうた…。時代をこえて親しまれてきたあそびうたの中から、子どもたちに人気のうたを、楽しい絵とともに紹介します。あそび方の説明も掲載。

2019:4./ 69p
978-4-8340-8459-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/02



分解者たち～見沼たんぼのほとりを生きる～

猪瀬 浩平、森田 友希 著
生活書院

「とるに足らない」とされたものたちの思想に向けて-。障害、健常、おとな、こども、蠢く生き物たち…。首都圏の底<見沼たんぼ>の農的営みから、どこにでもありそうな街を分解し、見落とされたモノたちと出会い直す。

2019:4./ 412p
978-4-86500-094-8
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/06/02、朝日新聞 2019/06/08



ケルトの魂～アイルランドから日本へ～

鶴岡 真弓 著
平凡社

エンヤ、ユーミン、山口智子、中沢新一…。ケルト芸術文化を専門とする著者が、歴史・音楽・思想・宗教・神話伝説・文学・民族・写真など、幅広いテーマを 16 人の探求者と語り合う。1991 年以降の対談を収録。

2019:4./ 386p 図版 8
枚
978-4-582-83790-2
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/06/02、朝日新聞 2019/06/29



人類最年長

島田 雅彦 著
文藝春秋

1861 年、横浜生まれ。その男は若い看護師に、159 歳だと言った…。さまざまな女と出会いながら、この国で生きてきた男。数奇な運命の果てに見たものとは。『文学界』連載を書籍化。

2019:4./ 285p
978-4-16-391006-2
本体 ¥1,850+税



読売新聞 2019/06/02、毎日新聞 2019/06/02



パリの君へ～自選短編集～(岩波現代文庫 文芸 306)

高橋 三千綱 著
岩波書店

理不尽な人生にもがき続けた作家が、書き継いできた多くの作品から自ら選んだ、珠玉の短編集。26 歳のときの作品「雷魚」をはじめ、「木刀」「馬」など、1980 年代の作品を含む全 11 編を収録する。唯川恵の解説も掲載。

2019:5./ 4p,392p
978-4-00-602306-5
本体 ¥1,160+税



読売新聞 2019/06/09



完本太幸と井伏～ふたつの戦後～(講談社文芸文庫 か P4)

加藤 典洋 著
講談社

4 度の自殺未遂を経て、生きることを選んだ太幸治は、戦後なぜ再び死に赴いたのか。師弟でもあったふたりの文学者の対照的な姿から、今に続く「戦後」の核心を鮮やかに照射する。考察を深めた論考を増補した完本。

2019:5./ 266p
978-4-06-516026-8
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/06/09



70歳のたしなみ

坂東 眞理子 著
小学館

人生 100 年時代の 70 代は貴重な黄金時代。「意識して上機嫌に振る舞う」「終活は急ぎすぎない」「子どもに期待してはいけない」など、70 代をすこやかに快く生きるための、たしなみを紹介する。

2019:4./ 207p

978-4-09-388691-8

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2019/06/09



知ってはいけない薬のカラクリ(小学館新書 344)

谷本 哲也 著
小学館

医者処方する薬の CM が無いのはなぜ? かかりつけの医者はどんな基準で薬を選んでいる? 患者が知らない舞台ウラで、製薬会社と医者の中で繰り返られる「薬のカラクリ」を、現役医師が勇気をもって明かす。

2019:4./ 222p

978-4-09-825344-9

本体 ¥800+税



読売新聞 2019/06/09



腰痛放浪記椅子がこわい(新潮文庫)

夏樹 静子 著
新潮社

読売新聞 2019/06/09

2003:7./ 246p

978-4-10-144310-2

本体 ¥460+税



ジョルジョ・ヴァザーリと美術家の顕彰〜16世紀後半フィレンツェにおける記憶のパトロネージ〜

古川 萌 著
中央公論新社

画家・建築家ジョルジョ・ヴァザーリが 1550 年に出版した、美術家たちの伝記集「美術家列伝」。この書物に隠された意図とは? 当時のフィレンツェの文化的、社会的、政治的文脈を背景に、美術史の父の目論見と野心を探る。

2019:3./ 294p

978-4-12-005181-4

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2019/06/09



牡蠣の森と生きる〜「森は海の恋人」の30年〜

畠山 重篤、鵜飼 哲夫 著
中央公論新社

宮城県気仙沼の牡蠣養殖家はなぜ森に木を植える活動を始めたのか。孤独な少年時代から、東日本大震災を乗り越えた現在までを語る。教科書に掲載された「森は海の恋人」なども収録。『読売新聞』連載「時代の証言者」を書籍化。

2019:5./ 4p,176p

978-4-12-005195-1

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/06/09



中空構造日本の深層(中公文庫)

河合 隼雄 著
中央公論新社

読売新聞 2019/06/09

1999:1./ 274p

978-4-12-203332-0

本体 ¥705+税





単純な脳、複雑な「私」～または、自分を使い回しながら進化した脳をめぐる 4 つの講義～

池谷 裕二 著
朝日出版社

母校で後輩の高校生たちに語る、脳科学の「最前線」。巧妙な脳のシステムとは?心はなぜ生まれるのか?切れば血の吹き出る新鮮な情報を手に、脳のダイナミズムに挑む。知的興奮が沸きあがる4つの講義を収録。

2009:5./ 414p,7
978-4-255-00432-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/06/09



ピリジアン(河出文庫 し 6-8)

柴崎 友香 著
河出書房新社

突然空が黄色くなった 11 歳の日、爆竹を鳴らし続ける 14 歳の日、街に現れるロックスターと会話する 19 歳の日…。自由に時を往き来しながら鮮烈に描く、10 歳から 19 歳までの日々の鋭く熱い記憶、痛みと憧れ…。短編集。

2016:7./ 198p
978-4-309-41464-5

本体 ¥680+税



読売新聞 2019/06/09



教皇フランシスコ～南の世界から～(平凡社新書 907)

乗 浩子 著
平凡社

頻発する宗教がらみの紛争、政治動向を左右する教会、南世界で増大するキリスト教信者、バチカンに山積みする諸問題…。様々な国の人々と接し、平和の問題に取り組む南半球からの初めての教皇フランシスコの思想と行動を追う。

2019:3./ 287p
978-4-582-85907-2

本体 ¥920+税



読売新聞 2019/06/09



食堂メッシタ(ハルキ文庫 や 11-7)

山口 恵以子 著
角川春樹事務所

満希が営む目黒の小さなイタリアン「食堂メッシタ」。ライターの手子は母親を亡くし落ち込んでいた時に、満希の料理に出会い元気を取り戻した。そんなある日、満希がお店を閉めると宣言し…。料理小説。

2019:4./ 222p
978-4-7584-4252-7

本体 ¥600+税



読売新聞 2019/06/09



娯楽する郊外

三浦 展 著
柏書房

軍隊と芸術で栄えた市川。飛行場と米軍基地で栄えた立川。歌舞伎座があった所沢・飯能…。街歩き達人が、郊外の隠れた歴史を娯楽を中心に紹介し、まちの個性のつくりかたを考える。『ホームズプレス』連載等に加筆。

2019:5./ 213p
978-4-7601-5103-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/06/09



ルールメイキング～ナイトタイムエコノミーで実践した社会を変える方法論～

齋藤 貴弘 著
学芸出版社

風営法改正、ナイトタイムエコノミー政策を主導した弁護士が実践するルールメイキングの方法論を紹介。産業構造の多様化、技術の進化に追いつけない時代遅れの法規制をいかにアップデートするかを伝える。

2019:4./ 255p
978-4-7615-2706-8

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/06/09



ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集

齊藤 倫、高野 文子 著
福音館書店

詩はよくわかんないかもしれないけれど、おもしろくて、たのしくて、そして自由だ-。子どもと大人の、20 篇の詩をめぐるストーリーを通して、詩のこと、そしてことばのことを、楽しみ、考える。

2019:4./ 158p
978-4-8340-8457-3
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/06/09



柳家喬太郎のヨーロッパ落語道中記

柳家 喬太郎 著
フィルムアート社

字幕付き落語に挑戦したデンマーク、アイルランドでのワークショップ、ケンブリッジ大学での落語公演、アイスランド大使公邸での晚餐会…。柳家喬太郎はじめての欧州ツアーの?末を、写真とともに一挙公開。

2019:3./ 245p
978-4-8459-1816-4
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2019/06/09



桜狂の譜～江戸の桜画世界～

今橋 理子 著
青幻舎

「桜だけを描く」幻の絵師たちと桜花に憑かれた名大名-。三熊思孝、三熊露香、広瀬花隠、織田琴々という三熊派の作品に加え、松平定信の手元で密かに遺された桜花図譜など、知られざる桜画約 140 点をオールカラーで収録。

2019:3./ 201p
978-4-86152-711-1
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/06/09



コスタリカ選詩集-緑の祈り(関西大学東西学術研究所訳注シリーズ 20)

カルロス・フランシスコ・モンヘ 編
関西大学出版部

コスタリカを代表する現代詩人の一人が編んだアンソロジー。ダリーオの影響色濃いモデルニスモの詩から、フェミニズムやディスコミュニケーションなど、多様な主題と格闘する今日の作品まで、百年の軌跡をたどる。原詩も収録。

2019:3./ 6p,131p,90p
978-4-87354-698-8
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/06/09



見えないからこそ見えた光～絶望を希望に変える生き方～

岩本 光弘 著
ユサブル

16 歳のときに全盲となるも現在はヨットマンとして活躍する著者が、大きな壁の乗り越え方、障がい者に本当に必要なサポート、行動すれば不安が消えること、上手くいかないときの思考法、チャンスの?み方などについて語る。

2019:2./ 217p
978-4-909249-20-3
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/06/09



大作曲家が語る音楽の創造と靈感

アーサー・M.エーブル、吉田 幸弘 著
出版館ブック・クラブ

ブラームス、R・シュトラウス、プッチーニ、グリーグ…。米国の音楽雑誌の欧州特派員が、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて大作曲家たちと対話を行い、それを逐一書き留めた貴重な記録。6 人の天才が音楽創造の奇跡を語る。

2013:2./ 21p,313p,39p
978-4-915884-68-9
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/06/09



奄美のノネコ～猫の問いかけ～

鹿児島大学鹿児島環境学研究会 編
南方新社

ノネコとは、「再」野生化した飼い猫や野良猫のこと。奄美大島のノネコが、希少野生生物を捕食し、絶滅の危機に追い込んでいる。奄美を舞台に展開する、動物と人をめぐる世界的実験の記録。

2019:3./ 282p
978-4-86124-400-1
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/09、東京・中日新聞 2019/06/23



ネコ・かわいい殺し屋～生態系への影響を科学する～

ピーター・P.マラ、クリス・サンテラ、岡 奈理子、山田 文雄、塩野崎 和美、石井信夫 著
築地書館

約 9500 年前に家畜化され、世界中に広がったネコの存在は、鳥類や哺乳類をはじめとする生物群にどのような影響をもたらすのか。野放しネコと環境との関わりを科学的に検証し、各国の対応策とその効果を紹介する。

2019:4./ 284p
978-4-8067-1580-1
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/06/09、日本経済新聞 2019/06/22



マキアヴェッリ～『君主論』をよむ～(岩波新書 新赤版 1779)

鹿子生 浩輝 著
岩波書店

祖国と家族、自由と人間を愛したマキアヴェッリが、真に伝えたかったこととはいったい何だったのか。「君主論」を中心に、マキアヴェッリの実際の政治思想を明らかにする。

2019:5./ 13p,253p
978-4-00-431779-1
本体 ¥860+税



読売新聞 2019/06/16



ネガレアリテの悪魔～贖者たちの輪舞曲～(角川文庫 お88-1)

大塚 已愛 著
KADOKAWA

19 世紀末、ロンドンの画廊で展示されたルーベンス未発表の「真作」。エディスは見知らぬ美貌の青年がその絵を「贗作」と断言するのを聞く。数日後、画廊を再訪したエディスは、絵の中から現れた怪物に襲われ...

2019:4./ 314p
978-4-04-107955-3
本体 ¥640+税



読売新聞 2019/06/16



世界の辺境とハードボイルド室町時代(集英社文庫 た58-18)

高野 秀行、清水 克行 著
集英社

現代ソマリランドと室町日本は驚くほど似ていた！世界の辺境を知れば、日本史の謎が解けてくる。世界観が覆される快感が味わえる、ノンフィクション作家と歴史家による“超時空”対談本。文庫化記念対談も収録。

2019:5./ 445p
978-4-08-745878-7
本体 ¥840+税



読売新聞 2019/06/16



アタラクシア

金原 ひとみ 著
集英社

望んで結婚したはずなのに、どうしてこんなに苦しいのだろう。擦り切れた愛。暴力の気配。果てのない仕事。そして、新たな恋。ままならない結婚生活の中、救いを求めてもがく男女を描いた長編。『すばる』連載を書籍化。

2019:5./ 293p
978-4-08-771184-4
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/16

**五つ星をつけてよ(新潮文庫 お-107-1)**奥田 亜希子 著
新潮社

母の介護を頼んでいるホームヘルパー・依田の悪い噂を耳にして動揺する恵美に、母が転んで怪我をしたと依田から連絡が入り…。ネットのレビュー、ブログ、SNS。評価し、評価される人々の心を鮮やかに描き出す 6 編を収録。

読売新聞 2019/06/16

2019:5./ 279p
978-4-10-101351-0

本体 ¥520+税

**辻(新潮文庫 ふ-8-6)**古井 由吉 著
新潮社

父と子。男と女。人は日々の営みのなかで、あるとき辻に差しかかる。日常に漂う性と業の果て、破綻へと至る際に、小説は神話を変奏する。古井文学がたどり着いた、ひとつの極点。濃密にして甘美な 12 の連作短篇。

読売新聞 2019/06/16

2014:6./ 366p

978-4-10-118506-4

本体 ¥590+税

**天皇の装束～即位式、日常生活、退位後～(中公新書 2536)**近藤 好和 著
中央公論新社

歴代の天皇は、譲位すると上皇となり、さらには出家して法皇となる場合があり、そうした人生の節目ごとに装束は変化した。主として中世の天皇の生涯をたどりながら、個々の装束を詳細に解説し、政治的機能を考える。

読売新聞 2019/06/16

2019:3./ 2p,236p

978-4-12-102536-4

本体 ¥880+税

**物語が、始まる(中公文庫)**川上 弘美 著
中央公論新社

読売新聞 2019/06/16

1999:9./ 217p

978-4-12-203495-2

本体 ¥552+税

**ヒキタさん!ご懐妊ですよ(光文社文庫 ひ 13-4)**ヒキタ クニオ 著
光文社

妻のひと言から、45 歳の作家は子どもを作る決心をしたが、精子の運動率が悪いと診断される。そこから長い長い「懐妊トレーニング」の日々が始まり…。男性から見た不妊治療を綴る。2019 年 10 月公開の同名映画の原作。

読売新聞 2019/06/16

2019:5./ 284p

978-4-334-77849-1

本体 ¥600+税

**誰そ彼の殺人**小松 亜由美 著
幻冬舎

杜乃宮大学の解剖技官・梨木楓は、准教授・今宮貴継とともに、警察から運び込まれる身元や死因が不明の死体を解剖している。事故か殺人か。2 人は犯人でさえ気づいていない証拠にたどり着く…。『小説幻冬』掲載を書籍化。

読売新聞 2019/06/16

2019:5./ 237p

978-4-344-03466-2

本体 ¥1,600+税





精読 学問のすゝめ(幻冬舎新書 は-16-1)

橋本 治 著
幻冬舎

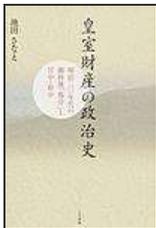
明治初期に刊行され、いまでも読み継がれる福沢諭吉の「学問のすゝめ」。全 17 編のうち、「すべての肝は初編にあり」と見抜いた著者が、その一文一文を?み砕き、時代背景から文章の飛躍の意味まで丁寧に解きほぐす。

2019:4./ 258p
978-4-344-98554-4

本体 ¥840+税



読売新聞 2019/06/16



皇室財産の政治史～明治二〇年代の御料地「処分」と宮中・府中～

池田 さなえ 著
人文書院

明治維新後、皇室財政を支えるための独自財源のひとつとして模索された、山林や鉱山などで形成される不動産「御料地」。明治 20 年代を舞台に、御料地の設置から払い下げ等の「処分」までを、一次史料をもとに分析・通覧する。

2019:3./ 440p

978-4-409-52076-5

本体 ¥6,800+税



読売新聞 2019/06/16



不道徳的倫理学講義～人生にとって運とは何か～(ちくま新書 1409)

古田 徹也 著
筑摩書房

運が主に倫理学の歴史のなかでどう扱われ、どのように肯定や否定をされてきたのか、古代ギリシアから現代に至る人々の思索の軌跡を追う。そしてその先に、人間のあるがままの生をとらえる道筋を探る。

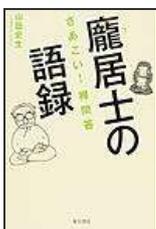
2019:5./ 360p,6p

978-4-480-07213-9

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/06/16



?居士の語録～さあこい!禅問答～

山田 史生 著
東方書店

ほしいままに禅林をぶらつき、活眼の修行者に問いをふっかける。中国・唐代の仏教者、?居士。入矢義高による?居士の語録の注釈書をひもとき、禅者が考えていたであろうことを、著者自身の流儀で論じる。

2019:4./ 15p,486p,13p

978-4-497-21902-2

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/06/16



奈良のミュージアム

松田 真一 著
雄山閣

奈良県内のミュージアム、全 53 館を紹介。基本情報やアクセス、それぞれの館の特長や展示内容の詳細のほか、周辺の観光地や文化遺産、観光ルート例なども収録する。データ:2019 年 1 月現在。

2019:4./ 217p

978-4-639-02627-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/16



亀裂～欧州国境と難民～

カルロス・スボットルノ、ギジェルモ・アブリル、上野 貴彦 著
花伝社

70 年間続くヨーロッパの平和をゆるがす、大量の難民流入。地中海、国境地帯で、何が起きているのか? 難民を保護する一方で排除するヨーロッパに広がる<亀裂>を描く、全てを写真で構成したフォトグラフィックノベル。

2019:5./ 174p

978-4-7634-0886-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/16



スペイン巡礼～緑の大地を歩く～

渡辺 孝 著
皓星社

ピレネー山脈の荘厳な夜明け、眼下にどこまでも続く緑の巡礼路。そして多くの巡礼者たちとの出会い…。千年以上の歴史を持つスペイン巡礼に思い立って挑んだ著者が、旅の模様を振り返る。

2019:4./ 259p
978-4-7744-0678-7
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/16



大事なことがはっきりするささやかな瞬間～関係づくりが苦手な世代～

ミハエル・ナスト、小山 千早 著
新評論

現実を見たくないから、変化が怖いから、あるいは核心にあまりにも近づきすぎたから、人は体裁を繕う。恋愛、結婚、キャリア…。人間関係に悩むドイツの「ロスジェネ」たちの本音をユーモア豊かに、時に辛口に綴る。

2019:5./ 8p,228p
978-4-7948-1125-7
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/06/16



物語として読む全訳論語～決定版～

山田 史生 著
トランスビュー

「論語」で語られる孔子の言葉は、師から弟子にむけて発せられつつあるライブの肉声をすくいあげたものである。人生のモヤモヤをときほぐす、清新な現代語訳とエッセイ風解説で、「論語」全文を読む。

2019:4./ 575p,14p
978-4-7987-0169-1
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/06/16



樹の人～瀧口政満作品集～

瀧口 政満 著
北海道新聞社

和人でありながらアイヌの心と響き合う独自の作品を作り続けた孤高の木彫作家・瀧口政満の作品集。シマフクロウや尾白鷺をはじめとする北の動物や、風と対話する少女像など、その全貌を明らかにする。評伝や解説、年譜も収録。

2019:3./ 207p
978-4-89453-943-3
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/06/16



井上陽水英訳詞集

ロバート キャンベル 著
講談社

井上陽水の言葉の森にわけ入り、歌詞をひとつひとつ英語に置き換えながら吟じ味わう。日本文学を生業とする著者が、井上陽水の歌詞を訳し、日本語の先にある「日本」に迫る。井上陽水と著者の対話も収録。

2019:5./ 301p
978-4-06-513131-2
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2019/06/16、毎日新聞 2019/06/16、産経新聞 2019/06/23、朝日新聞 2019/06/29



創造された「故郷」～ケーニヒスベルクからカリニングラードへ～

ユーリー・コスチャショーフ、橋本 伸也、立石 洋子 著
岩波書店

第2次世界大戦の結果、東プロイセンのドイツ人は追放され、ソ連各地から来た移住者が新しい都市を建設することになった。戦争で住民が総入れ替えになった地域の稀有な歴史を、政策者と住民のダイナミズムを通して描く。

2019:2./ 12p,259p,18p
978-4-00-023738-3
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/06/23



前方後円墳～巨大古墳はなぜ造られたか～(シリーズ古代史をひらく)

川尻 秋生 編
岩波書店

日本列島では 3 世紀半ば以降、驚くほど巨大な前方後円墳がいくつも生まれた。なぜこの時期に、この形状で造られたのか。考古学と歴史学がタッグを組み、長年問われ続けてきた古代の<巨大な謎>に挑む。

2019:5./ 7p,317p
978-4-00-028495-0
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/06/23



海見える理髪店(集英社文庫 お 52-7)

荻原 浩 著
集英社

ある想いを胸に秘め、古い理髪店を訪ねた「僕」と店主が交わす特別な時間。急逝した娘に代わり成人式に替え玉出席すべく奮闘する夫婦…。永遠のようで儚い家族の日々を描く 6 編の物語。

2019:5./ 262p
978-4-08-745872-5
本体 ¥580+税



読売新聞 2019/06/23



日米地位協定～在日米軍と「同盟」の 70 年～(中公新書 2543)

山本 章子 著
中央公論新社

在日米軍の基地使用、行動範囲、米軍関係者の権利などを保証した日米地位協定。“過剰な優遇”の根源とは。実際の運用が非公開の「合意議事録」に基づいてきた事実など、日本が置かれている「地位」の実態を描く。

2019:5./ 7p,256p
978-4-12-102543-2
本体 ¥840+税



読売新聞 2019/06/23



ライフサイクルの哲学

西平 直 著
東京大学出版会

人によって人生を見る見方が違い、人生を語る文法が違う。世代、稽古、元型、創発、転生、発達…。教育人間学、死生学、哲学を専門とする著者の、30 年にわたる探求の成果。

2019:4./ 3p,357p
978-4-13-051344-9
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/06/23



マミの天使

市原 佐都子 著
早川書房

日本のみならず、世界から注目される劇団ユニット Q を主宰する劇作家・市原佐都子の小説作品集。『悲劇喜劇』誌掲載の中篇小説「マミの天使」、『すばる』誌掲載の「虫」に、書き下ろし「地底妖精」を加えた全 3 篇を収録。

2019:6./ 211p
978-4-15-209842-9
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/06/23



モスクワの伯爵

エイモア・トールズ、宇佐川 晶子 著
早川書房

1922 年、モスクワ。革命政府に無期限の軟禁刑を下された伯爵は、絶望に沈みゆく中で紳士の流儀を貫くことを選ぶ。人をもてなし、身のまわりを整え、人生を投げ出さない。やがて彼は宿泊客や従業員たちと友情を深めるが…。

2019:5./ 619p
978-4-15-209860-3
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/06/23



百花

川村 元気 著
文藝春秋

認知症と診断され、徐々に息子を忘れていく母と、母との思い出を蘇らせていく息子。ふたりには忘れることのできない“事件”があった。現代に新たな光を投げかける、愛と記憶の物語。『文藝春秋』連載を単行本化。

2019:5./ 299p
978-4-16-391003-1
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/06/23



アイネクライネナハトムジーク

伊坂 幸太郎 著
幻冬舎

奥さんに愛想を尽かされたサラリーマン、他力本願で恋をしようとする青年、元いじめっこへの復讐を企てる OL…。情けないけど、愛おしい。ごく普通の人たちが巻き起こす、小さな奇跡の物語。『パピルス』ほか連載を書籍化。

2014:9./ 285p
978-4-344-02629-2
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/06/23



農ガール、農ライフ(祥伝社文庫 か 28-2)

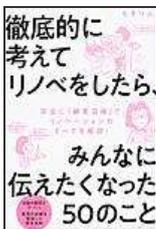
垣谷 美雨 著
祥伝社

仕事と彼氏と家を失った 32 歳の久美子。偶然目にした「農業女子特集」という TV 番組を見て、「農業(これ)だ!」と感じた彼女は田舎に引っ越し農業大学校に入学。希望に満ちた農村ライフが待っていると信じていたのだが…。

2019:5./ 351p
978-4-396-34523-5
本体 ¥690+税



読売新聞 2019/06/23



徹底的に考えてリノベをしたら、みんなに伝えたかった 50 のこと〜リフォーム&リノベーション入門の決定版〜

ちきりん 著
ダイヤモンド社

リノベ会社選び、契約から設計、施工、引渡までの各プロセスについて、徹底的に顧客目線で時系列に沿って詳述。ビフォー・アフター写真のほか、「8 個の疑問とびっくり」&費用の詳細を記した資料も収録。

2019:4./ 293p,16p
978-4-478-10774-4
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/06/23



考古学講義(ちくま新書 1406)

北條 芳隆 編
筑摩書房

科学的な手法の発達によって、考古学の年表は全面的に書き換えられつつある。実証的な考古学の最新成果をわかりやすく伝えるとともに、通説をそのままなぞるような水準にとどまらない、挑戦的な研究を紹介する。

2019:5./ 350p
978-4-480-07227-6
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/06/23



ベランダ園芸で考えたこと(ちくま文庫 や 53-1)

山崎 ナオコーラ 著
筑摩書房

愛情の暴走、コンパニオンプランツ、芽が出る喜び、残酷な間引き…。震災を経て、結婚をして、ベランダに引きこもった著者が、生と死を見つめた日々をイラストと共に綴る。

2019:5./ 234p
978-4-480-43594-1
本体 ¥740+税



読売新聞 2019/06/23



?景芳短篇集(エクス・リブリス)

? 景芳 著
白水社

注目の中国 SF 作家による短篇小説集。ヒューゴー賞受賞「北京 折りたたみの都市」ほか、社会格差や高齢化、エネルギー資源、医療問題、都市生活者のストレスなど、中国社会を映しだす全 7 篇を収録。

2019:3./ 256p
978-4-560-09057-2
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/06/23



ホークアイ〜警察庁特命捜査官水野乃亜〜(双葉文庫 は-34-01)

初瀬 礼 著
双葉社

警視庁の水野乃亜は、AI システム・ホークアイ導入を目論む警察官僚・佐山の特命を受け、見当たり捜査の現場に立っていた。そんな中、女テロリストが日本に潜入。この国を守るのは、AI システムか、それとも刑事の執念か...

2019:6./ 357p
978-4-575-52234-1
本体 ¥685+税



読売新聞 2019/06/23



世界の本好きたちが教えてくれた人生を変えた本と本屋さん

ジェーン・マウント、清水 玲奈 著
エクスマレッジ

本にまつわる全てを愛し、愛読書のポートレートを描くイラストレーターが、「世界の本好きたちに愛されている本」1000 冊以上をかわいらしいイラストとともに紹介。世界から選りすぐった本屋・図書館も掲載。

2019:4./ 223p
978-4-7678-2616-5
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/06/23



ド・ロ版画の旅〜ヨーロッパから上海?長崎への多文化的融合〜

郭 南燕 著
創樹社美術出版

<信徒発見>の奇跡を経て、来日したフランス人神父ド・ロが遺した宗教画 500 年のルーツをたどり、日本の風俗に即して宣教するための視覚的ツールがもたらした東西の融合を東アジアから読み解く。

2019:3./ 205p 図版
18p
978-4-7876-0106-3
本体 ¥4,600+税



読売新聞 2019/06/23



不思議の国のアリス 鏡の国のアリス〜新訳〜

ルイス・キャロル、高山 宏、建石 修志 著
青土社

全編に溢れ出る夢とファンタジーで、熱烈な読者を獲得する「不思議の国のアリス」「鏡の国のアリス」。21 世紀のアリスを求め、新訳テキストと描き下ろし絵画でアリス世界を極める夢のコラボレーション。

2019:3./ 251p
978-4-7917-7150-9
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/06/23



苔登山〜もののけの森で山歩き〜

大石 善隆 著
岩波書店

足元のコケを通して山、そして地球環境まで思いを馳せる。日本全国のコケの山・森と、山を代表するコケを厳選し、写真とともに紹介。低山帯・山地帯など標高帯別にコケの生き方も解説する。

2019:6./ 9p,106p
978-4-00-022964-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/06/30



雨の科学(講談社学術文庫 2553)

武田 喬男 著
講談社

なぜ雨は、滝のようにつながって落ちてこないのか。雨粒はどんな形をしているのか。雲粒のでき方から集中豪雨のメカニズム、人工降雨の可能性まで、「雲から雨が降る」という、当たり前現象の仕組みと奥深さを探究する。

読売新聞 2019/06/30

2019:5./ 237p
978-4-06-515651-3
本体 ¥960+税



ジャージの二人(集英社文庫)

長嶋 有 著
集英社

読売新聞 2019/06/30

2007:1./ 222p
978-4-08-746118-3
本体 ¥430+税



デモクラシーの宿命～歴史に何を学ぶのか～

猪木 武徳 著
中央公論新社

今の社会に言論・思想の自由を徹底できる気概はあるか。共存の意志を掲げ続ける精神はあるか。必然の困難を越えていくために何が必要か。デモクラシーの在り方を問い直す試み。

読売新聞 2019/06/30

2019:6./ 315p
978-4-12-005202-6
本体 ¥2,200+税



ドキュメント 誘導工作～情報操作の巧妙な罠～(中公新書ラクレ 652)

飯塚 恵子 著
中央公論新社

自分の意見が、知らずに誰かに操られている! 情報操作やフェイク・ニュース流布を駆使する手法「誘導工作」。IT 技術の進歩を背景に進む工作の実態を、欧米各地の関係者取材を重ねて描き出す。

読売新聞 2019/06/30

2019:6./ 302p
978-4-12-150652-8
本体 ¥820+税



歴史を応用する力(中公文庫 み 36-10)

宮城谷 昌光 著
中央公論新社

中国歴史小説の第一人者が、光武帝、呉漢、項羽、劉邦らの生涯を辿りながら、歴史から何を学び、人生にどう応用すべきかを、平易な語り口で具体的に解説。『中央公論』掲載の伊藤忠商事元会長・丹羽宇一郎との対談も収録。

読売新聞 2019/06/30

2019:3./ 212p
978-4-12-206717-2
本体 ¥640+税



立憲主義という企て

井上 達夫 著
東京大学出版会

「法の支配を憲法に具現して、統治権力を統制する企て」である立憲主義を、法哲学的基礎に遡って再検討。また、九条問題、刑罰権力、司法改革といった、現代日本の憲政が孕む問題を立憲主義の理念に照らして解明する。

読売新聞 2019/06/30

2019:6./ 16p,431p
978-4-13-031193-9
本体 ¥4,200+税





はっとりさんちの狩猟な毎日

服部 小雪 著
河出書房新社

今日の弁当はシカ? イノシシ? それともヌートリア? 狩猟に目覚めた登山家の夫と、ありふれた家族の異常な(?)日常を綴る。夫、服部文祥によるエッセイも収録。『Fielder』連載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2019/06/30

2019:5./ 158p
978-4-309-02797-5
本体 ¥1,500+税



本棚から読む平成史

岡ノ谷 一夫、梯 久美子、牧原 出、読売新聞社文化部 編
岡ノ谷 一夫、梯 久美子、牧原 出 著
河出書房新社

書籍は時代の「かたち」をつくっている。政治・経済から、文学、ノンフィクション、科学書まで、平成 31 年間に刊行された名著の数々を一挙紹介。激動の<平成時代>を名著を通じて描く。『読売新聞』連載に加筆修正。

読売新聞 2019/06/30

2019:6./ 221p
978-4-309-25396-1
本体 ¥1,600+税



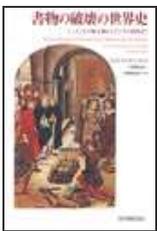
愛と苦悩の手紙〜君を思い、思うことあり〜(河出文庫 た 5-3)

亀井 勝一郎 編
太宰 治 著
河出書房新社

戦中、敗戦という非常時下で、苦悩呻吟し、しかし一筋に書いていくことに励み、友人後輩を励まし酒に誘い、豹変的民主主義に憤り、日本虚無派を標榜し…。太宰治が編集者や師、友人、妻へ宛てた手紙 101 通を収録する。

読売新聞 2019/06/30

2019:6./ 172p
978-4-309-41691-5
本体 ¥780+税



書物の破壊の世界史〜シュメールの粘土板からデジタル時代まで〜

フェルナンド・バエス、八重樫 克彦、八重樫 由貴子 著
紀伊國屋書店出版部

シュメールの昔から、アレクサンドリア図書館の栄枯盛衰、ナチスによるビブリオコースト、イラク戦争下の略奪行為、電子テロまで。膨大な量の文献や実地調査をもとに、世界各地の書物の破壊の歴史をたどる。

読売新聞 2019/06/30

2019:2./ 739p
978-4-314-01166-2
本体 ¥3,500+税



ドルジェル伯の舞踏会(光文社古典新訳文庫 KA ラ 1-2)

ラディゲ 著
光文社

青年貴族フランソワは、社交界の花形ドルジェル伯爵夫妻に気に入られ、彼らと頻りに過ごすようになる。気さくだが軽薄な伯爵と、そんな夫を敬愛する貞淑な妻マオ。フランソワはマオへの恋慕を抑えきれず…。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 328p
978-4-334-75399-3
本体 ¥840+税





インド神話物語 マハーバーラタ<上>

デーヴァダッタ・パトナーヤク、沖田 瑞穂、村上 彩 著
原書房

世界最大級の叙事詩「マハーバーラタ」。クリシュナ、アルジュナ、ドラウパディー...。神々と英雄が織りなす壮大なインド神話をサンスクリット語原典の流れに即し、読みやすく胸躍る物語に再話。理解を深めるコラムも収録。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 316p
978-4-562-05649-1

本体 ¥1,900+税



インド神話物語 マハーバーラタ<下>

デーヴァダッタ・パトナーヤク、沖田 瑞穂、村上 彩 著
原書房

世界最大級の叙事詩「マハーバーラタ」。クリシュナ、アルジュナ、ドラウパディー...。神々と英雄が織りなす壮大なインド神話をサンスクリット語原典の流れに即し、読みやすく胸躍る物語に再話。理解を深めるコラムも収録。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 265p

978-4-562-05650-7

本体 ¥1,900+税



徳川家康と武田氏〜信玄・勝頼との十四年戦争〜(歴史文化ライブラリー 482)

本多 隆成 著
吉川弘文館

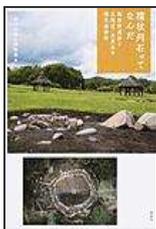
信玄・勝頼二代にわたる武田氏との抗争は、家康最大の試練だった。今川領国への侵攻から武田氏滅亡まで、苦難の時代を乗り越えた家康の前半生を、信長、將軍義昭との関係や、松平信康事件にも注目しながら新説をふまえて描く。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 5p,246p

978-4-642-05882-7

本体 ¥1,800+税



環状列石ってなんだ〜御所野遺跡と北海道・北東北の縄文遺跡群〜

御所野縄文博物館 編
新泉社

大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡...。北の縄文人は、なぜ巨大なストーンサークルを生み出したのか。北の縄文文化の特徴を、環状列石に焦点をあてて論じる。2012?2018 年に行われた講演をもとに書籍化。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 170p

978-4-7877-1819-8

本体 ¥1,800+税



アメリカ人の見たゴジラ、日本人の見たゴジラ

池田 淑子 著
大阪大学出版会

「ゴジラ」はなぜ半世紀以上も日米で愛されているのか。ゴジラを愛してやまない日米の 6 人の研究者が、ゴジラ表象の正体を明らかにし、日米両国でゴジラ映画が長く受容されてきた理由を解き明かす。

読売新聞 2019/06/30

2019:3./ 9p,278p

978-4-87259-670-0

本体 ¥2,000+税



戦禍の記憶〜大石芳野写真真集〜

大石 芳野 著
クレヴィス

戦争の悲惨な傷痕に今なお苦しむ声なき民に向きあい、平和の尊さを問いつづける大石芳野。約 40 年にわたり、戦争の犠牲となった人々を取材し、いつまでも消えない戦禍の傷にレンズを向けたモノクロ写真 160 点を収録する。

読売新聞 2019/06/30

2019:4./ 183p

978-4-909532-18-3

本体 ¥2,500+税





ブレグジット・パラドクス～欧州統合のゆくえ～

庄司 克宏 著
岩波書店

英国の EU 離脱(ブレグジット)は、欧州に、そして世界に、何をもたらすのか。EU 研究の第一人者が、ブレグジット交渉の帰趨を決めることとなった 3 つの問題に焦点を当て、英国の交渉目標とレッドラインの修正の軌跡を追う。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:3./ 6p,188p
978-4-00-061332-3
本体 ¥2,100+税



父権制の崩壊あるいは指導者はもう来ない(朝日新書 714)

橋本 治 著
朝日新聞出版

都知事選の変遷、ハリウッド映画の分析、政治家のスキャンダル…。男たちの論理で作られた世界を歴史的に紐解きながら、組織、女の役割等、これまでの「当たり前」が失効する世界の到来を説く。『小説トリッパー』連載を改題。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:4./ 235p
978-4-02-295011-6
本体 ¥810+税



ありがとう、さようなら(角川文庫 せ 6-2)

瀬尾 まいこ 著
KADOKAWA

初めてプロポーズをしてくれた相手は、中学校の教え子でした。学校というルール of 厳しい社会の中で、出会いと別れを繰り返し、成長していく生徒たちと過ごした日々を綴ったほっこりエッセイ。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:4./ 139p
978-4-04-102639-7
本体 ¥560+税



戦争前夜～魯迅、?介石の愛した日本～

譚【ロ】美 著
新潮社

魯迅と?介石、2 人の日本留学生が見た夢の行方は? 中国革命に命を賭ける男達と、支えた日本人の希望と挫折の物語。東京・北京・上海を舞台に、日中百年の群像を描く。『新潮 45』連載を加筆修正して単行本化。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:3./ 414p
978-4-10-529708-4
本体 ¥2,300+税



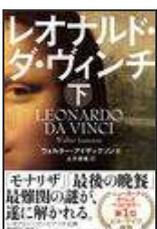
レオナルド・ダ・ヴィンチ<上>

ウォルター・アイザックソン、土方 奈美 著
文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:3./ 389p
978-4-16-390999-8
本体 ¥2,200+税



レオナルド・ダ・ヴィンチ<下>

ウォルター・アイザックソン、土方 奈美 著
文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

日本経済新聞 2019/06/01

2019:3./ 341p
978-4-16-391000-0
本体 ¥2,200+税





最後の親鸞(ちくま学芸文庫)

吉本 隆明 著
筑摩書房
日本経済新聞 2019/06/01

2002:9./ 238p
978-4-480-08709-6
本体 ¥1,000+税



激しく考え、やさしく語る～私の履歴書～(日経プレミアシリーズ 399)

山折 哲雄 著
日本経済新聞出版社
生き恥をさらすか、晩節を汚すか-覚悟があれば人は孤独に襲われない。日本を代表する宗教学者が、独自の思想を育んだ 87 年を生きた感懐を綴る。『日本経済新聞』連載の「私の履歴書」にロングインタビューを加えて書籍化。

2019:3./ 261p
978-4-532-26399-7
本体 ¥890+税

日本経済新聞 2019/06/01



PRINCIPLES～人生と仕事の原則～

レイ・ダリオ、斎藤 聖美 著
日本経済新聞出版社
「現実を受け入れて対応しよう」「やろうと決めたことをやろう」…。世界最大のヘッジファンド「ブリッジウォーター・アソシエーツ」の創業者レイ・ダリオが、自身の人生を振り返るとともに、人生と仕事の原則を明かす。

2019:3./ 590p
978-4-532-35797-9
本体 ¥4,000+税

日本経済新聞 2019/06/01



超孤独死社会～特殊清掃の現場をたどる～

菅野 久美子 著
毎日新聞出版
孤独死、年間約 3 万人。救済の手立てはあるのか? 孤独死など、凄惨な死の現場の原状回復を手がける特殊清掃人のたちの生き様や苦悩をクローズアップしながら、生と死、現代日本が抱える孤立の問題に向き合う。

2019:3./ 284p
978-4-620-32576-7
本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/06/01



クララ・シューマン(音楽家の伝記はじめに読む 1 冊)

萩谷 由喜子 著
ヤマハミュージックメディア
世界ではじめてのワーキングマザーのピアニスト、クララ・シューマン。作曲家ロベルト・シューマンの妻としても知られるクララの人生を紹介する。子ども向けのクラシック音楽入門書。音楽が試聴できる QR コード付き。

2019:4./ 317p
978-4-636-96304-5
本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/06/01



データ資本主義～ビッグデータがもたらす新しい経済～

ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー、トマス・ランジ、斎藤 栄一郎 著
NTT出版
金融資本主義からデータ資本主義へ。オンライン市場の問題点、株式市場の信頼に基づく価格決定メカニズムの欠陥、データが豊富な市場の台頭を関連づけ、データを燃料に市場を再起動することが経済の再編につながることを説く。

2019:3./ 6p,303p
978-4-7571-0382-5
本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2019/06/01



東大の先生!文系の私に超わかりやすく数学を教えてください!

西成 活裕、郷 和貴 著
かんき出版

中学・高校で挫折したオトナのための、最速・最短で数学のやり直しができる本。数学を「代数」「解析」「幾何」の3つのカテゴリーに分け、それぞれの最終ゴールを定め、最短ルートでたどり着けるように解説する。

2019:1./ 263p
978-4-7612-7391-0
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2019/06/01



逸脱の文化史~近代の<女らしさ>と<男らしさ>~

小倉 孝誠 著
慶應義塾大学出版会

近代フランスの社会は、男女の身体、情動、欲望をめぐるどのような規範を課し、逸脱はどのように表象されたのか? 小説、自伝、日記、医学書、性科学の啓蒙書などの言説をつづいて読み解く。

2019:4./ 223p,18p
978-4-7664-2592-5
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/06/01



蠅たちの隠された生活(大英自然史博物館シリーズ)

エリカ・マカリストアー、榊永 一宏、鴨志田 恵 著
エクスマレッジ

蠅がいなければ、人はチョコレートを食べることも、心地よい世界に暮らすこともできない!? 蠅たちの知られざる生態と驚くべき能力、そして人間との切っても切れない関係を、大英自然史博物館の昆虫学者が解き明かす。

2018:6./ 343p
978-4-7678-2493-2
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/06/01



ダウン症の書家 金澤翔子の一人暮らし

金澤 泰子 著
かまくら春秋社

翔子は引っ越して行った商店街の中の部屋で、新たな楽園を作った。ダウン症の書家・金澤翔子の一人暮らしの素敵なエピソードを、母・泰子が綴る。書道作品、写真も豊富に掲載。『かまくら春秋』連載を単行本化。

2019:4./ 221p
978-4-7740-0781-6
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/06/01



科学の女性差別とたたかう~脳科学から人類の進化史まで~

アンジェラ・サイニー、東郷 えりか 著
作品社

「“女脳”は論理的ではなく感情的」など、科学の世界においても、女性に対する偏見は歴史的に根強く存在してきた。19世紀から現代までの科学史や最新の研究成果を徹底検証し、まったく新しい女性像を明らかにする。

2019:4./ 294p,32p
978-4-86182-749-5
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/06/01、産経新聞 2019/06/16



食の実験場アメリカ~ファーストフード帝国のゆくえ~(中公新書 2540)

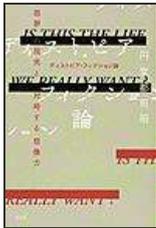
鈴木 透 著
中央公論新社

先住インディアン、黒人奴隷、各国の移民らの食文化が融合したアメリカの食。そこから独自の食文化が形成されたが、画一化されたファーストフードや肥満という問題も引き起こした。食から移民大国の歴史と現在を読む。

2019:4./ 6p,257p
978-4-12-102540-1
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2019/06/01、読売新聞 2019/06/02



ディストピア・フィクション論～悪夢の現実と対峙する想像力～

円堂 都司昭 著
作品社

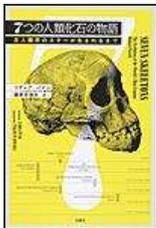
ユートピアとは真逆のディストピアに接近する現実を前に、創作は何ができるのか？
21世紀に発表されたディストピアを主題にした小説や映画などの物語、それらに関連した政治性や社会性を含んだ物語について論じる。

2019:4./ 415p,13p
978-4-86182-725-9

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/06/01、読売新聞 2019/06/09



7つの人類化石の物語～古人類界のスターが生まれるまで～

リディア・バイン、藤原 多伽夫 著
白揚社

国家の英雄になった化石、カルチャーアイコンになった化石…。「科学標本」はなぜ「メディアの寵児」となったのか？ 科学と社会と文化が絡み合う“セレブ化石”に秘められたストーリーを解説する。

2019:5./ 333p

978-4-8269-0210-6

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2019/06/01、読売新聞 2019/06/30



直観の経営～「共感の哲学」で読み解く動態経営論～

野中 郁次郎、山口 一郎 著
KADOKAWA

論理・分析思考の限界を超える「本質直観」を身に付けるには？ 現象学的還元から、SECI モデル、物語り戦略まで、物事の本質を見抜く直観力の磨き方を、世界的経営学者と現象学の泰斗が語る。両者の対談も掲載。

2019:3./ 365p

978-4-04-602490-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/06/08



美しい顔

北条 裕子 著
講談社

未曾有の災害に襲われた町で、幼い弟とともに避難所に身を寄せる高校生のサナエ。混乱の中、押し寄せるマスコミの取材にねじれた高揚感を抱くが、いつか訪れなければならない場所があり…。『群像』掲載を単行本化。

2019:4./ 152p

978-4-06-515019-1

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2019/06/08



藤澤清造追影(講談社文庫 に33-3)

西村 賢太 著
講談社

大正期の私小説作家・藤澤清造。その「歿後弟子」となった著者が、「師」の孤影と残像を綴る。さらに、著者が自らの故郷・東京について語る「東京者がたり」を併せ、ふたりの私小説作家の人生を横断的に描き出した随筆集。

2019:5./ 326p

978-4-06-515510-3

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2019/06/08



シンクタンクとは何か～政策起業力の時代～(中公新書 2532)

船橋 洋一 著
中央公論新社

世界大戦や恐慌など、歴史上の危機から生まれたシンクタンク。ポピュリズムや中国台頭という難題に「政策起業家」たちはどう応えるか。自らシンクタンクを率いるジャーナリストが、国際政治の最前線を描く。

2019:3./ 12p,294p

978-4-12-102532-6

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2019/06/08



独学のススメ～頑張らない!「定年後」の学び方 10 か条～(中公新書ラクレ 655)
 若宮 正子 著
 中央公論新社
 飽きたらやめちゃえ! 将来に備えるな! 定年後に独学でプログラミングを学び、世界最高齢のアプリ開発者として一躍有名人となった著者が、人生 100 年時代を楽しむコツを伝授する。茂木健一郎との対談も収録。

2019:5./ 205p
 978-4-12-150655-9
 本体 ¥820+税



日本経済新聞 2019/06/08



太陽の黄金の林檎 新装版(ハヤカワ文庫 SF 1870)
 レイ・ブラッドベリ 著
 早川書房
 冷えきった地球を救うために太陽から“火”を持ち帰ろうとする宇宙船を描いた表題作をはじめ、抒情 SF の巨匠によるノスタルジーあふれる全 22 篇を収録する。

2012:9./ 397p
 978-4-15-011870-9
 本体 ¥940+税



日本経済新聞 2019/06/08



その後の不自由～「嵐」のあとを生きる人たち～(シリーズケアをひらく)
 上岡 陽江、大嶋 栄子 著
 医学書院
 暴力をはじめとする理不尽な体験そのものを生き延びたその後、今度は生きつづけるためにさまざまな不自由を抱える人たちの現実を描く。「普通的生活」の有り難さをめぐる当事者研究の最前線。

2010:9./ 261p
 978-4-260-01187-7
 本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/06/08



大阪～都市の記憶を掘り起こす～(ちくま新書 1401)
 加藤 政洋 著
 筑摩書房
 キタとミナミの違いとは何か? 梅田の巨大地下街はどのように形成されたのか? 気鋭の地理学者が大阪の街々を歩き、織田作之助らの著作を読み、この大都市の忘れられた物語を掘り起こす。

2019:4./ 253p
 978-4-480-07217-7
 本体 ¥820+税



日本経済新聞 2019/06/08



プラットフォーマー勝者の法則～コミュニティとネットワークの力を爆発させる方法～
 ロール・クレア・レイエ、ブノワ・レイエ、根来 龍之、門脇 弘典 著
 日本経済新聞出版社
 もともと伝統的な小売業者、製造業者だったアマゾンやアップルは、いかにしてプラットフォーマーとなったか。ビジネスモデルを点火、上昇、安定させる方法(ロケットモデル)を明らかにする。

2019:3./ 361p
 978-4-532-32262-5
 本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/06/08



学校を変える いじめの科学
 和久田 学 著
 日本評論社
 経験則では子どもを救えない! 国内外で蓄積された科学的知見に基づく、かつ現場で“使える”いじめ対策を提示。いじめのメカニズム、被害者・加害者・傍観者の特徴、いじめの解決や予防法などを事例とともに解説する。

2019:4./ 245p
 978-4-535-56377-3
 本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/06/08



愛着障害としてのアディクション

フィリップ・J.フローレス 著

日本評論社

アルコールや薬物、ギャンブル・セックスなどのアディクション(依存症)という精神障害の、発症から回復に至る過程全体を、人と人との関係性、すなわち愛着関係と自己愛の病という視点から説明する。

日本経済新聞 2019/06/08

2019:1./ 309p

978-4-535-98458-5

本体 ¥3,000+税



ダルク～回復する依存者たち～

ダルク 編

明石書店

薬物依存からの当事者による回復実践を行う「ダルク」の 30 年以上の歴史を踏まえ、日本全国の代表者たちが「回復」「実践」「連携」をキーワードに、各地における個性豊かな活動とそこから得られた知見をまとめる。

日本経済新聞 2019/06/08

2018:6./ 266p

978-4-7503-4688-5

本体 ¥2,000+税



キプカへの旅

岩根 愛 著

太田出版

ハワイと福島は同じボンダンス(盆踊り)で強く深く繋がっている。心臓を貫くその鼓動に誘われ、ハワイ語で「新しい生命の場所」を意味する「キプカ」を探求した写真家の烈しい魂の唄。

日本経済新聞 2019/06/08

2019:5./ 269p

978-4-7783-1672-3

本体 ¥3,000+税



万引き依存症

斉藤 章佳 著

イースト・プレス

もともと発生件数の多い、身近で深刻な犯罪「万引き」。人が万引きを始める背景には何があるのか。なぜ繰り返すのか。どうすれば止められるのか。依存症の専門家が、万引き依存の実態を解き明かす。

日本経済新聞 2019/06/08

2018:9./ 258p

978-4-7816-1705-3

本体 ¥1,500+税



監視文化の誕生～社会に監視される時代から、ひとびとが進んで監視する時代へ～

デイヴィッド・ライアン、田畑 暁生 著

青土社

なぜ権力による監視には抵抗しつつも、自らの個人情報を進んでアップし続けるのか? SNS やビッグデータによる「透明化」がもたらすものとは何か。監視論の権威による、オンライン時代の監視文化論。

日本経済新聞 2019/06/08

2019:4./ 283p,8p

978-4-7917-7162-2

本体 ¥2,600+税





チャイナ・ウェイ～中国ビジネスリーダーの経営スタイル～

マイケル・ユシーム、ハビール・シン、ネン・リャン、ピーター・カペツリ、池上 重輔、月谷 真紀 著

英治出版

正しく知ると、向き合い方も見えてくる。「アリババ」の馬雲や「レノボ」の柳伝志など、中国トップ企業のビジネスリーダーへのインタビューや綿密な分析を通して、急成長する中国の企業のダイナミズムを徹底解剖する。

2019:5./ 389p

978-4-86276-269-6

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/06/08



依存症からの脱出～つながりを取り戻す～

信濃毎日新聞取材班 編

海鳴社

ネット依存から薬物、アルコール、ギャンブル依存まで、「心の闇」と立ち向かいながら、周りの人の助けで回復への道を歩む人たちに光を当てる。『信濃毎日新聞』連載や関連の特集などをまとめて書籍化。

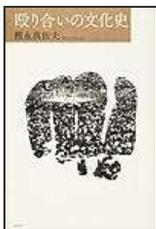
2018:2./ 274p

978-4-87525-338-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/06/08



殴り合いの文化史

樫永 真佐夫 著

左右社

モハメド・アリ、ソクラテス、ボブ・ディラン…。巨人たちのエピソードを交え、拳で殴る暴力/拳での殴り合いが、人間の身体のみならず、共同体、宗教、芸術など様々な文化の諸相と関わり合っていることを明らかにする。

2019:4./ 408p,14p

978-4-86528-223-8

本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2019/06/08、産経新聞 2019/06/16、読売新聞 2019/06/16、朝日新聞 2019/06/22



湖

ビアンカ・ペロヴァー、阿部 賢一 著

河出書房新社

湖に面した街・ボロスに祖父母と暮らす少年ナミ。祖父は湖に漁に出かけたまま不帰の人となり、足を骨折した祖母も小舟に乗せられ、湖に送られてしまう。肉親を失ったナミは…。チェコ新世代女性作家が描く現代の黙示録。

2019:4./ 211p

978-4-309-20767-4

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/06/08、朝日新聞 2019/06/15



ルボ人は科学が苦手～アメリカ「科学不信」の現場から～(光文社新書 1003)

三井 誠 著

光文社

特派員としてアメリカで科学取材を始めた著者が実感したのは、意外なほどに広がる「科学への不信」だった。その背景には何があるのか。先進各国に共通する「科学と社会を巡る不協和音」という課題を描く。

2019:5./ 242p

978-4-334-04410-7

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2019/06/08、朝日新聞 2019/06/15、毎日新聞 2019/06/16



もう一人の彼女～李香蘭/山口淑子/シャーリー・ヤマグチ～

川崎 賢子 著
岩波書店

満洲、日本、アメリカで活躍し、いくつもの名前を持つ「彼女」。新資料を基に、彼女の生きた時代、生きた場所、その越境の軌跡を総合的にとらえ直し、全く新しい「李香蘭」像を描く。

2019:3./ 12p,249p,2p
978-4-00-025324-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/06/08、朝日新聞 2019/06/29



脳はなにげに不公平～パテカトルの万脳薬～(朝日文庫 い91-1)

池谷 裕二 著
朝日新聞出版

右手を握ると記憶力がアップする、好調な人のそばにいと自分も好調になる、性の快楽はお酒で代替可能…。脳の不思議と科学の最新知見を、人気の脳研究者が軽妙かつやさしく綴る。

2019:5./ 227p,12p
978-4-02-261968-6

本体 ¥620+税



日本経済新聞 2019/06/08、読売新聞 2019/06/09



そしていま、一人になった

吉行 和子 著
ホーム社

母・あぐりの静かな旅立ち、劇団民藝からはじまった女優人生、兄・妹との日々、人生の残り時間…。107歳まで生きた母を送り、自分も80歳を超えた女優・吉行和子が、これまでの自分と家族について綴る。

2019:4./ 253p
978-4-8342-5329-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2019/06/08、毎日新聞 2019/06/09



流言のメディア史(岩波新書 新赤版 1764)

佐藤 卓己 著
岩波書店

流言蜚語、風評、誤報、情報宣伝…。現代史に登場したメディア流言の「真実」を見極め、それぞれの影響を再検証するメディア論。『季刊 考える人』連載を再構成し、加筆して新書化。

2019:3./ 4p,289p,7p
978-4-00-431764-7

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2019/06/15



英語名言集(岩波ジュニア新書 229)

加島祥造 著
岩波書店

シェークスピアからオノ・ヨーコまで、20世紀の文学や思想を中心に百篇の名言を厳選し、斬新な解説をほどこしました。英語の生きた息づかいや、英文を読む楽しさを存分に味わうことができます。

1993:10./ 204p
978-4-00-500229-0

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2019/06/15



サービスの達人たち～おもてなしの神～(新潮文庫 の-13-4)

野地 秩嘉 著
新潮社

銀座の寿司屋の女子親方、人気立ち食いそば屋の店主、癒しのレクサスオペレーター…。10人のプロフェッショナルの働く姿勢と素顔を紹介し、サービスの真髄に迫る。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて文庫化。

2019:6./ 282p
978-4-10-136254-0

本体 ¥520+税



日本経済新聞 2019/06/15



漢帝国～400年の興亡～(中公新書 2542)

渡邊 義浩 著

中央公論新社

項羽を破った劉邦が統一し、魏に滅ぼされるまで約 400 年余り続いた漢帝国。中国史上最長の統一帝国にして、中国を規定し続けた「儒教国家」はいかに形成されたのか。その興亡の歴史をたどる。

2019:5./ 3p,273p

978-4-12-102542-5

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2019/06/15



ファウスト<悲劇第1部> 改版(中公文庫 ケ1-4)

ゲーテ 著

中央公論新社

あらゆる知的探究も欲求を満たさないことに絶望したファウストは、悪魔メフィストフェレスと魂をかけた契約を結び…。ゲーテが言葉の深長な象徴力を駆使しつつ自然と人生の深奥に迫った大作。河盛好蔵らのエッセイも収録。

2019:5./ 465p

978-4-12-206741-7

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/06/15



ピュリティ

ジョナサン・フランゼン、岩瀬 徳子 著

早川書房

ピップは 23 歳。奨学金ローンを抱え、自宅はアナーキストたちとのシェアハウス、仕事は電話営業。唯一の身内である母親は父親が誰なのか明かさない。そこでピップは情報公開組織<サンライト・プロジェクト>に参加するが…。

2019:4./ 823p

978-4-15-209854-2

本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2019/06/15



夏みかん酢っぱしいまさら純潔など(河出文庫 す15-1)

河出書房新社

いにしへのてぶりの屠蘇をくみにけり 激動の戦後を生き、消息を絶った伝説の女性俳人・鈴木しづ子。彼女がこの世に遺した句集「春雷」と「指環」を一冊にまとめる。ほか川村蘭太のルポ「鈴木しづ子追跡」なども収録。

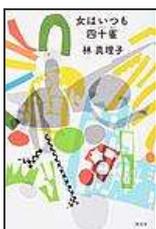
2019:6./ 270p

978-4-309-41690-8

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2019/06/15



女はいつも四十雀

林 真理子 著

光文社

人ヅマだろうと、子持ちであろうと、やはり四十代はモテ期。女としての黄金期だったというのである。元祖「アラフォー」ウオッチャー林真理子による、平成最後の 5 年分のエッセイ。『STORY』連載を書籍化。

2019:5./ 329p

978-4-334-95099-6

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2019/06/15



自公政権とは何か～「連立」にみる強さの正体～(ちくま新書 1408)

中北 浩爾 著

筑摩書房

2016 年の参院選以降、衆参両院で過半数を占める自民党は、単独政権が可能なのに、なぜ連立を解消しないのか? 自公政権を中心に多角的な分析を行い、強さの理由を解き明かす。

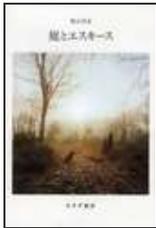
2019:5./ 364p

978-4-480-07216-0

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2019/06/15



庭とエスキース

奥山 淳志 著
みすず書房

北海道の丸太小屋で自給自足の生活を営み、糧を生みだす庭とともに暮らす「弁造さん」。その姿を14年に渡り記録した写真家による写文集。弁造さんの“生きること”を思い紡いだ24篇の記憶の物語と、40点の写真を収録。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:4./ 284p 図版
40p

978-4-622-08795-3

本体 ¥3,200+税



今すぐソーシャルメディアのアカウントを削除すべき10の理由

ジャロン・ラニアー、大沢 章子 著
亜紀書房

ソーシャルメディアが世の中をかつてないほど陰鬱で狂気じみたものになっている。“仮想現実(VR)の父”が、ソーシャルメディアの闇を暴きながら、今すぐすべてのソーシャルメディア・アカウントを削除すべき理由を述べる。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:4./ 223p,11p

978-4-7505-1584-7

本体 ¥1,800+税



人生100年時代の経済～急成長する高齢者市場を読み解く～

ジョセフ・F.カフリン、依田 光江 著

NTT出版

高齢化は危機ではなく好機。未開拓のビジネスチャンスを探せ！さまざまなプロダクトの成功/失敗事例をもとに、企業が高齢者市場で成功するための秘訣を公開する。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:3./ 6p,365p

978-4-7571-2373-1

本体 ¥2,700+税



女性雑誌とファッションの歴史社会学～ビジュアル・ファッション誌の成立～

坂本 佳鶴恵 著

新曜社

日本の近現代における、「an・an」や「non・no」などのビジュアル・ファッション誌の歴史的变化とファッションとの関係を追い、女性雑誌と読者層の女性たちにみるファッションのもつ意味とその作用を検討する。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:3./ 8p,379p

978-4-7885-1610-6

本体 ¥3,900+税



日本の異国～在日外国人の知られざる日常～

室橋 裕和 著

晶文社

竹ノ塚リトル・マニラ、茗荷谷シーク寺院、西川口中国コミュニティ…。外国人コミュニティを取材し、私たちの知らない在日外国人の日々を迫る。『aera dot.』連載を大幅に加筆・修正。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:5./ 390p

978-4-7949-7091-6

本体 ¥1,800+税



陛下、今日は何を話しましょう

アンドルー・B.アークリー 著

すばる舎

外国人留学生と浩宮徳仁親王、その知られざる友情とは？ご学友であり、長年のご友人である著者が、外国人ならではの視点で新天皇陛下の魅力を語る。ここだけの皇室秘話が満載。

日本経済新聞 2019/06/15

2019:5./ 173p

978-4-7991-0813-0

本体 ¥1,500+税





バチカンと国際政治～宗教と国際機構の交錯～

松本 佐保 著
千倉書房

第二次世界大戦、冷戦、冷戦終結から民族紛争の噴出に至る国際社会の変動にカトリックの総本山・バチカンはどう向き合ったのか。ダイナミックな国際政治への関与を、国際機関や他宗派との連携の歴史と共に描きだす。

日本経済新聞 2019/06/15、産経新聞 2019/06/30

2019:4./ 17p,336p
978-4-8051-1144-4
本体 ¥4,500+税



がん免疫療法とは何か(岩波新書 新赤版 1768)

本庶 佑 著
岩波書店

がん治療の考え方を根本から変えた、PD-1 抗体による免疫療法。画期的治療法を主導する著者が研究の歩みを辿りながら、生命現象の不思議から日本の医療の未来までを論じる。ノーベル生理学医学賞受賞晩餐会スピーチも収録。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:4./ 7p,210p,2p
978-4-00-431768-5
本体 ¥760+税



日本発「ロボットAI農業」の凄い未来～2020年に激変する国土・GDP・生活～(講談社+α 新書 713-2C)

窪田 新之助 著
講談社

迫る完全ロボット化、作業時間は9割減、輸出額1兆円も目前! これまで人が行ってきた仕事をロボットやAI、IoTが代わりに果たしていく次世代の農業「ロボットAI農業」について語る。

日本経済新聞 2019/06/22

2017:2./ 221p
978-4-06-272979-6
本体 ¥840+税



深海-極限の世界～生命と地球の謎に迫る～(ブルーバックス B-2095)

藤倉 克則、木村 純一 著
講談社

特殊な環境の生態系、地球の動きのカギを握る海洋プレート、地球温暖化・海洋酸性化のしくみ…。光も届かず高圧下という過酷な「深海」に生きる生物の姿を捉え、地球の動きを探り、生命の起源に迫る、深海研究の最前線を紹介。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:5./ 286p
978-4-06-516042-8
本体 ¥1,100+税



やわらかな兄 征爾(光文社知恵の森文庫 t お 16-1)

小澤 幹雄 著
光文社

やんちゃで熱心、家族思いで涙もろい。実弟が語る、世界の“オザワ”の愛すべき素顔とは。欧州・音楽武者修行中に家族にあてた「ブザンソン指揮者コンクール優勝を知らせる手紙」ほか、家族だけが知る逸話を多数収録する。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:6./ 325p
978-4-334-78769-1
本体 ¥800+税



82年生まれ、キム・ジョン

チョ ナムジュ、斎藤 真理子 著
筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちほだかる困難と差別を描く。

日本経済新聞 2019/06/22

2018:12./ 189p
978-4-480-83211-5
本体 ¥1,500+税





農村DX革命～アグリカルチャー4.0の時代～

三輪 泰史、井熊 均、木通 秀樹 著

日刊工業新聞社

日本農業の未来を背負う AI/IoT 等の先進技術を駆使したスマート農業。デジタル技術を駆使し、儲かる農業と住みやすい農村の両立を実現する「農村デジタルトランスフォーメーション(農村DX)」の具体的な実現策を示す。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:4./ 6p,182p

978-4-526-07973-3

本体 ¥2,300+税



グリーンズパン～何でも知っている男～

セバスチャン・マラビー、村井 浩紀 著

日本経済新聞出版社

「何でも知っている男」グリーンズパンは、なぜ危機の発生を防ぐために行動しなかったのか? アメリカの中央銀行、連邦準備理事会(FRB)議長グリーンズパンの人生と時代を描き、中央銀行の本質的な課題を明らかにする。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:3./ 902p 図版

24p

978-4-532-17656-3

本体 ¥5,800+税



誰も農業を知らない～プロ農家だからわかる日本農業の未来～

有坪 民雄 著

原書房

机上の改革案が日本農業をつぶす! 農家減少・高齢化の衝撃、「ビジネス感覚」農業の盲点、遺伝子組み換え作物の是非など、日本農業の現状と突破口を専業農家のリアルな視点から見る。ウェブ『JBPRESS』連載を書籍化。

日本経済新聞 2019/06/22

2018:12./ 6p,307p

978-4-562-05613-2

本体 ¥1,800+税



測りすぎ～なぜパフォーマンス評価は失敗するのか?～

ジェリー・Z.ミュラー、松本 裕 著

みすず書房

教育、医療、ビジネス、行政、NPO…。業績評価が組織をダメにする? パフォーマンス測定への固執が機能不全に陥る原因と、数値測定の健全な使用方法を明示する。チェックリスト付き。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:4./ 189p,22p

978-4-622-08793-9

本体 ¥3,000+税



ホモ・サピエンスの15万年～連続体の人類生態史～(叢書・知を究める 15)

古澤 拓郎 著

ミネルヴァ書房

さまざまな分野と関連した人類生態学という視点のもとに、ホモ・サピエンスの歴史をたどる。男女の性差、人種など、異なることを一つの連続するものとしてとらえることで、人類にとっての異文化理解、多様性のあり方を問う。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:4./ 4p,262p,8p

978-4-623-08444-9

本体 ¥2,400+税



フェイクニュースを科学する～拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ～(DOJIN 選書 79)

笹原 和俊 著

化学同人

フェイクニュースはなぜ生まれ、どのようにして拡散し、われわれ人類の脅威となるのか。フェイクニュース現象を「情報生態系」の問題として捉え、その仕組みを平易な言葉で解説する。理解の手助けになるコラムも掲載。

日本経済新聞 2019/06/22

2018:12./ 191p

978-4-7598-1679-2

本体 ¥1,500+税





歩いて読みとく地域デザイン～普通のまちの見方・活かし方～

山納 洋 著
学芸出版社

まちを読みとくための様々なリテラシーを紹介。暮らし手・作り手の視点から「なぜまちのここがこうなっているのか」がわかるようになり、地域らしさを活かした地域づくりを考える力が身につく。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:5./ 198p
978-4-7615-2707-5

本体 ¥2,000+税



夢みる名古屋～ユートピア空間の形成史～

矢部 史郎 著
現代書館

都市計画法制定から100年。都市改造の先進モデル地域であった名古屋は、なにを経験してきたのか? 20世紀の名古屋を、近代都市計画、モータリゼーション、ジェントリフィケーションという3つの時代でたどる。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:6./ 222p

978-4-7684-5857-0

本体 ¥1,800+税



アマゾン銀行が誕生する日～2025年の次世代金融シナリオ～

田中 道昭 著
日経BP社

顧客第一主義とスピードを武器に金融業を「複製」するアマゾン、中国をフィンテック大国に変えたアリババとテンセント、日本型金融ディスラプターとメガバンクとの対決の行方…。次世代金融産業を巡る戦いの構図と状況を解説。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:4./ 430p

978-4-8222-8966-9

本体 ¥1,800+税



安アパートのディスコクイーン～トレイシー・ソーン自伝～(ele-king books)

トレイシー・ソーン 著
Pヴァイン

音楽バンド「エヴリシング・バット・ザ・ガール(EBTG)」の活動で知られるトレイシー・ソーン。10代のときの女の子バンドから、EBTGでの活動、育児のための休業と現在までを綴った、UK音楽史ともいえる自伝。

日本経済新聞 2019/06/22

2019:6./ 381p

978-4-909483-28-7

本体 ¥3,650+税



アイデンティティが人を殺す(ちくま学芸文庫 マ 18-3)

アミン・マアルーフ、小野 正嗣 著
筑摩書房

集団への帰属の欲求が、他者に対する恐怖や殺戮へつながってしまうのはなぜか。複数の国と言語、そして文化伝統の境界で生きてきた著者が、新しい時代にふさわしいアイデンティティのあり方を模索する。

日本経済新聞 2019/06/22、朝日新聞 2019/06/29

2019:5./ 192p

978-4-480-09926-6

本体 ¥1,100+税



新宿の迷宮を歩く～300年の歴史探検～(平凡社新書 912)

橋口 敏男 著
平凡社

新宿駅や駅とともに発展してきた東口や歌舞伎町、西口などの街の歴史を辿るとともに、街に残る歴史の痕跡を紹介。新宿のルーツである宿場、内藤新宿や内藤家の屋敷であった新宿御苑、土木遺産玉川上水の歴史も訪ねる。

日本経済新聞 2019/06/22、読売新聞 2019/06/23

2019:5./ 294p

978-4-582-85912-6

本体 ¥920+税





江藤淳は甦える

平山 周吉 著
新潮社

「平成」の空宴を予言し、現代文明を根底から疑った批評家・江藤淳。「成熟と喪失」「海は甦える」など、常に文壇の第一線で闘い続けた軌跡を、徹底的な取材により解き明かす。没後 20 年、自死の当日に会った著者による評伝。

日本経済新聞 2019/06/22、毎日新聞 2019/06/30

2019:4./ 783p

978-4-10-352471-7

本体 ¥3,700+税



ミクロ経済学入門の入門(岩波新書 新赤版 1657)

坂井 豊貴 著
岩波書店

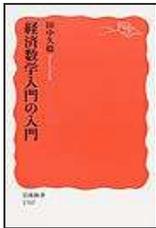
無差別曲線や限界費用などの基本から、標準的な均衡理論、IT サービスの理解に欠かせないネットワーク外部性まで、ミクロ経済を数式でなく、コンパクトな図でわかりやすく解説する。関連テーマの読書案内も収録。

日本経済新聞 2019/06/29

2017:4./ 10p,149p,3p

978-4-00-431657-2

本体 ¥740+税



経済数学入門の入門(岩波新書 新赤版 1707)

田中 久稔 著
岩波書店

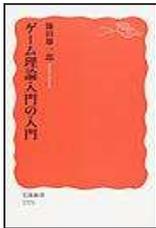
予備知識なしで読める、「経済数学入門の入門」。微分、偏微分、最適化問題、差分方程式、動的計画法など、経済学に登場するさまざまな数学を、経済学的な考え方に基づいて説明する。

日本経済新聞 2019/06/29

2018:2./ 8p,164p

978-4-00-431707-4

本体 ¥760+税



ゲーム理論入門の入門(岩波新書 新赤版 1775)

鎌田 雄一郎 著
岩波書店

実は単純明快、初学者でもすぐ使いこなせる! 相手の出方をどう読むか。社会経済問題の分析だけでなく、ビジネスの戦略決定にも必須のゲーム理論の基礎知識を、新進気鋭の理論家があざやかに解説する。

日本経済新聞 2019/06/29

2019:4./ 8p,164p

978-4-00-431775-3

本体 ¥760+税



ドウ・ゴール(角川選書 617)

佐藤 賢一 著
KADOKAWA

イギリスの EU 離脱、テロ、移民・難民問題...いま学ぶべき「大政治家」の見識と手腕とは? 降伏という最悪の事態から自国を再生させ、強いフランスの威信を内外に訴えたドウ・ゴールの足跡を活写する。

日本経済新聞 2019/06/29

2019:4./ 357p

978-4-04-703612-3

本体 ¥1,700+税



ひよこ太陽

田中 慎弥 著
新潮社

ひたすら机に向かい続けても何も書けず、いつしか死の誘惑に取り憑かれた。今日も死ななかつた、死なずに済んだ...。これは私小説なのか、それとも作家の妄想か。不条理世界を生きる作家が綴る小説。『新潮』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2019/06/29

2019:5./ 153p

978-4-10-304135-1

本体 ¥1,550+税





コケはなぜに美しい(NHK 出版新書 588)

大石 善隆 著
NHK出版

初期の陸上植物の面影を残す植物、コケ。岩や樹木になぜ生える? 「苔のむすま」はどれくらい? コケを愛してやまない気鋭の研究者が、200点以上のカラー写真とともに語る、小さなコケの壮大な物語。

2019:6./ 286p
978-4-14-088588-8
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/06/29



耳鼻削ぎの日本史(文春学芸ライブラリー)

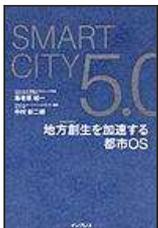
清水 克行 著
文藝春秋

平安時代から戦国期にかけての日本では、刑罰として、また戦功の証明として、耳鼻削ぎが広く行われていた。日本社会のなかの耳鼻削ぎの歴史を追求する。図版と「爪と指」に関する論考を増補し文庫化。

2019:4./ 266p,5p
978-4-16-813080-9
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/06/29



SMARTCITY5.0~地方創生を加速する都市 OS~

海老原 城一、中村 彰二郎 著
インプレス

東日本大震災からの復興支援策としてスタートした会津若松市のスマートシティプロジェクトは、地方創生を図る「SMART CITY5.0」と呼ぶ動きへと進化している。8年にわたるプロジェクトの軌跡を明らかにする。

2019:5./ 303p
978-4-295-00614-5
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/06/29



森の世界爺~樹へのまなざし~

多田 智満子 著
人文書院

古来、人間は自然や樹木からいかに豊かな恩恵を受けてきたか。「古事記」「風土記」からエジプト・ギリシア神話まで、又家の庭木から旅先の異国の植物まで時と場を自在にワープし、詩人のまなざしで樹々と人間の物語を紡ぐ。

1997:7./ 208p
978-4-409-16078-7
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/06/29



日本人はなぜ「頼む」のか~結びあいの日本史~(ちくま新書 1418)

白川部 達夫 著
筑摩書房

「頼む」という言葉は、日本人の意識や行動様式のなかでどのような位置を占め、その歴史的変容は、人びとの結び合いの、いかなる変化から生まれたか。様々な史料に現れる「頼む」の変遷を読み込み、日本人の社会的結合を描く。

2019:6./ 234p
978-4-480-07233-7
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2019/06/29



鳥と人間の文化誌(関西学院大学研究叢書 第205編)

奥野 卓司 著
筑摩書房

「多くの日本人が鳥を好んでいる」というのは本当か? 文化人類学を専攻してきた著者が、日本人の生き物観としての「花鳥風月」を出発点に、犬や猫よりもはるかに古い、鳥と人間の意外で多彩な関係を重層的に描きだす。

2019:4./ 238p
978-4-480-82380-9
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/06/29



平成の経済

小峰 隆夫 著

日本経済新聞出版社

政策混迷が招いた熱狂・転落・苦闘…。経済白書でバブル崩壊を分析し、未曾有の事態に向き合い続けたエコノミストが、約 30 年にわたる平成の経済を振り返り、次代への教訓を論じる。

2019:4./ 5p,312p

978-4-532-35801-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/06/29



記憶の箱舟～または読書の変容～

鶴ヶ谷 真一 著

白水社

西行はなぜ不吉とされる月蝕を詠んだのか？ 書物の変遷と読書の変容。さらに両者の織りなす記憶という人間精神の多様ないとなみを、東西の知の歴史に重ね合わせる。

2019:5./ 260p,12p

978-4-560-09701-4

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2019/06/29



インセイン・モード～イーロン・マスクが起こした 100 年に一度のゲームチェンジ～

ヘイミッシュ・マッケンジー、松本 剛史 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

巨大自動車産業の扉をこじ開けた、テスラの革命。CEO であるイーロン・マスクの元側近が、テスラのどこがすばらしいのか、そしてどれほど切迫した難題を抱えているかを、フェアで明快な視点から紹介する。

2019:5./ 381p

978-4-596-55143-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/06/29



FC バルセロナ常勝の組織学

ダミアン・ヒューズ、高取 芳彦 著

日経BP社

勝ち続ける上で重要なのはスターの獲得や戦術ではない。「文化」を浸透させる努力だ！ 世界屈指の強豪クラブ・FC バルセロナが育んできた、全員をコミットさせる驚異のマネジメント術を紹介する。

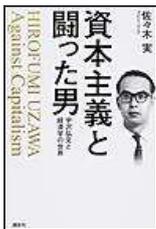
2019:6./ 362p

978-4-8222-8972-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2019/06/29



資本主義と闘った男～宇沢弘文と経済学の世界～

佐々木 実 著

講談社

世界から称賛された気鋭の数理経済学者は、なぜ突然「長い沈黙」に入ったのか。経済学の発展に寄与しながら、なぜ経済学を批判するようになったのか。「人々が平和に暮らせる世界」を追求した宇沢弘文の激動の生涯を描く。

2019:3./ 638p

978-4-06-513310-1

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2019/06/29、東京・中日新聞 2019/06/30



摘録断腸亭日乗<上>(岩波文庫 緑 42-0)

磯田 光一 編

永井 荷風 著

岩波書店

永井荷風は 38 歳から 79 歳の死の直前まで 42 年間にわたって日記を書きつづけた。断腸亭は荷風の別号、日乗とは日記のこと。岩波版全集で約 3000 ページにのぼるその全文からエッセンスを抄出し読みやすい形で提供する。

1987:7./ 460p

978-4-00-310420-0

本体 ¥950+税



毎日新聞 2019/06/02



摘録断腸亭日乗<下>(岩波文庫 緑 42-1)

磯田 光一 編
永井 荷風 著
岩波書店

読む者を捕えてはなさぬ荷風日記の魅力を「あとを引く」面白さともいおうか。そういう日記の、ではどのあたりが最も精彩に富むかといえば、その一つとして戦中の記事をあげねばなるまい。昭和 12～34 年を収録。

毎日新聞 2019/06/02

1987:8./ 426p
978-4-00-310421-7
本体 ¥910+税



火付盗賊改～鬼と呼ばれた江戸の「特別捜査官」～(中公新書 2531)

高橋 義夫 著
中央公論新社

江戸の放火犯・盗賊・博徒を取り締まった火付盗賊改。時代小説では颯爽たるイメージだが庶民の評判は芳しくなかった。当時の随筆や世相風聞録を博捜し、時の権力者や大盗賊との関わりも絡め、功罪相半ばした活動の実態に迫る。

毎日新聞 2019/06/02

2019:2./ 257p
978-4-12-102531-9
本体 ¥860+税



平成金融史～バブル崩壊からアベノミクスまで～(中公新書 2541)

西野 智彦 著
中央公論新社

バブル崩壊後、北海道拓殖銀行や山一証券の経営破綻、リーマン危機に直面するなど、長期低迷にあえぐ日本経済。金融当局は当時どう考え、何を見誤ったのか。キーパーソンへの取材をもとに、金融失政の 30 年を検証する。

毎日新聞 2019/06/02

2019:4./ 316p
978-4-12-102541-8
本体 ¥920+税



天邪鬼のすすめ(文春新書 1215)

下重 暁子 著
文藝春秋

敗戦、失恋、家族の葛藤…。挫折と思えたものを逆転してこれたのは、天邪鬼とおめでたさがあってこそ。下重暁子が波瀾万丈の人生を明かし、不安の時代を生き抜くヒントを提示する。『東京新聞』連載に加筆・修正し新書化。

毎日新聞 2019/06/02

2019:5./ 232p
978-4-16-661215-4
本体 ¥820+税



検証平成建築史

内藤 廣、日経アーキテクチュア、日経アーキテクチュア 編
内藤 廣、日経アーキテクチュア 著
日経BP社

「平成」という時代は、建築界の何を変え、何を積み残したのか。建築家・内藤廣のロングインタビューと、建築専門誌『日経アーキテクチュア』の記事により、その答えを浮き彫りにする。とじ込み建築・社会年表付き。

毎日新聞 2019/06/02

2019:3./ 319p
978-4-296-10217-4
本体 ¥3,200+税





プロフェッショナルの条件～いかに成果をあげ、成長するか～(はじめて読むドラッカー)

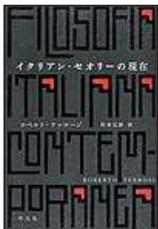
P. F. ドラッカー、上田 惇生 著
ダイヤモンド社

今や唯一の意味ある競争力要因は、知識労働の生産性であり、それを左右するのが知識労働者である。自分の能力を見極め、伸ばすための簡単な方法を紹介。著者自らの体験をもとに教える、知的生産性向上の秘訣。

2000:6./ 266p
978-4-478-30059-6
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/06/02



イタリアン・セオリーの現在

ロベルト・テッロージ、柱本 元彦 著
平凡社

フランス現代思想との連続と独自の政治哲学的伝統の交点にある現代イタリア哲学。世界に衝撃を与えたイタリアン・セオリーを論じると共に、それに先行するポストモダンの哲学、アカデミズムの哲学の特徴と主な潮流を考察。

2019:3./ 481p
978-4-582-70347-4
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2019/06/02



東京は遠かった～改めて読む松本清張～

川本 三郎 著
毎日新聞出版

中央と地方、格差社会、転落する男と女-。時代を超えて読み継がれる清張ミステリ。「東京へのまなざし」「昭和の光と影」「清張映画の世界」「清張作品への旅」など、さまざまな角度から松本清張の魅力に迫る。

2019:3./ 223p
978-4-620-32579-8
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/06/02



学習する組織～システム思考で未来を創造する～

ピーター・M. セング、枝廣 淳子、小田 理一郎、中小路 佳代子 著
英治出版

自律的かつ柔軟に進化しつづける「学習する組織」のコンセプトと構築法を説き、経営の本質をえぐる名著。企業、学校、地域コミュニティ、社会課題など、さまざまな実践事例を踏まえて大幅に加筆修正。

2011:6./ 581p
978-4-86276-101-9
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2019/06/02



ティール組織～マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現～

フレデリック・ラルー、鈴木 立哉 著
英治出版

上下関係も、売上目標も、予算もない!? 従来のアプローチの限界を突破し、圧倒的な成果をあげる先駆的な組織を分析。その結果から導き出した組織論の新しいコンセプト「進化型(ティール)組織」について解説する。

2018:1./ 589p
978-4-86276-226-9
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/06/02



天皇制と闘うとはどういうことか

菅 孝行 著
航思社

護憲平和派が「おことば」に依拠するのはなぜか。70年代半ばから天皇制論を発表してきた著者が、中世下層民の文化から敗戦後の占領政策問題、安倍政権批判に至るまでの反天皇制論を総括する。樋口陽一との対談なども収録。

2019:4./ 343p
978-4-906738-37-3
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2019/06/02



懐かしの空き缶大図鑑～石川浩司のお宝コレクション～(かもめの本棚)

石川 浩司 著
東海教育研究所

バンド「たま」のデビューと同時に始めた空き缶コレクションは、34年間で3万缶以上。世界一多くの缶ドリンクを飲んだ男・石川浩司が、選りすぐりのお宝缶を一挙公開。WEB マガジン『かもめの本棚』連載を加筆し単行本化。

2019:3./ 158p
978-4-924523-02-9
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/06/02



完璧という領域

熊川 哲也 著
講談社

芸術としてのバレエだけでなく、ビジネスとして成功に導くために大企業と渡り合い、劇場を監督し、ダンサーとスタッフを育てる。世界に輸出するために完全オリジナル作品を創造し続ける、バレエダンサー熊川哲也の自伝。

2019:5./ 267p
978-4-06-512545-8
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/06/02、産経新聞 2019/06/09



夢見る帝国図書館

中島 京子 著
文藝春秋

友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追う…。本を愛した人々の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

2019:5./ 404p
978-4-16-391020-8
本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/06/02、東京・中日新聞 2019/06/16、日本経済新聞 2019/06/22、
産経新聞 2019/06/23



沈黙する教室～1956年東ドイツ-自由のために国境を越えた高校生たちの真実の物語～

ディートリッヒ・ガルスカ、大川 珠季 著
アルファベータブックス

東西冷戦下の東ドイツ。ある高校の進学クラス全員が反革命分子とみなされ退学処分！この国で未来を描けない若者たちは、自由の国、西ドイツを目指して国境を越える…。ノンフィクション。2019年5月公開映画の原作。

2019:5./ 418p,4p
978-4-86598-064-6
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/06/02、日本経済新聞 2019/06/08



俳句必携 1000句を楽しむ

宮坂 静生 著
平凡社

『日本農業新聞』『文藝春秋増刊くりま』などに掲載した俳句鑑賞コラムを集成。江戸から平成まで、日々詠まれてきた俳句 1068 句を取りあげ、作者、出典、鑑賞句の季語を併載する。俳句を楽しむための書籍案内なども収録。

2019:5./ 8p,389p
978-4-582-30523-4
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/06/03、産経新聞 2019/06/30



ユーラシア動物紀行(岩波新書 新赤版 1757)

増田 隆一 著
岩波書店

著者が取り組んできた動物学研究成果を紹介しながら、日本とユーラシア大陸の関係を考察。さらに、フィンランドやロシアで経験した出来事に基づいて、ユーラシア大陸の雄大な自然や人々の文化も紹介する。

2019:1./ 6p,195p,4p
978-4-00-431757-9

本体 ¥960+税



毎日新聞 2019/06/09



チェルノブイリの祈り～未来の物語～(岩波現代文庫 S(社会))

スベトラーナ・アレクシエービッチ 著
岩波書店

毎日新聞 2019/06/09

2011:6./ 4p,311p

978-4-00-603225-8

本体 ¥1,040+税



アンダーグラウンド(講談社文庫)

村上 春樹 著
講談社

毎日新聞 2019/06/09

1999:2./ 777p

978-4-06-263997-2

本体 ¥1,080+税



ここから世界が始まる～トルーマン・カポーティ初期短篇集～

トルーマン・カポーティ、小川 高義 著
新潮社

ホームレス、老女、淋しい子どもへの共感…。社会の外縁に住まう者たちに共感を寄せ、明晰な文章に磨きをかけていったカポーティの、高校時代から 20 代初めの未発表作全 14 篇をまとめた短篇集。村上春樹による解説も収録。

2019:2./ 196p

978-4-10-501408-7

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/06/09



もう一度花咲かせよう～「定年後」を楽しく生きるために～(中公新書ラクレ 654)

残間 里江子 著
中央公論新社

これからは自分の為に楽しむ時! 人生の最後に花を咲かせたいと思っている全ての大人に向けて、「定年後」を楽しく生き抜くヒントを紹介する。『毎日新聞』連載を加筆し書籍化。

2019:4./ 219p

978-4-12-150654-2

本体 ¥820+税



毎日新聞 2019/06/09



流れといのち～万物の進化を支配するコンストラクタル法則～

エイドリアン・ベジヤン、柴田 裕之 著
紀伊國屋書店出版部

「生命とは何か」という問いの根源を探究する著者が、<コンストラクタル法則>を武器に、富と資源の流れ、テクノロジーや都市の進化、時間や死の諸相等を見渡しながら、生命と進化にまったく新しい視座を与える。

2019:5./ 401p

978-4-314-01167-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/06/09



ヨーロッパとゲルマン部族国家(文庫クセジュ 1028)

マグリ・クメール、ブリューノ・デュメジル 著
白水社

1 世紀から 7 世紀に定住したゲルマン人諸部族は、ローマ帝国と政治や文化の交流を重ねながら、独自の歴史を刻んだ。最新の研究成果を盛り込み、古代末期から初期中世にかけてのゲルマン人諸部族の動勢に的確な展望を与える。

毎日新聞 2019/06/09

2019:5./ 161p,17p

978-4-560-51028-5

本体 ¥1,200+税



美智子さま その働き声

工藤 美代子 著
毎日新聞出版

「愛と犠牲」をもって国民に接し、皇室の姿を変えた美智子さまは、同時代の女性たちの間でいかに大きな存在であったのか。タブーに切りこんだ取材で皇后の核心に迫る。『サンデー毎日』連載をもとに加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2019/06/09

2019:4./ 231p

978-4-620-32583-5

本体 ¥1,500+税



皇位継承～歴史をふりかえり変化を見定める～

春名 宏昭、高橋 典幸、村 和明、西川 誠 著
山川出版社

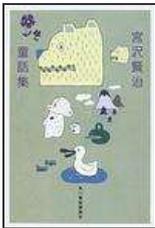
千数百年にわたる皇位の変遷からなにが見えるか？ 皇位継承のあり方に着目し、天皇の歴史をふりかえり、天皇や天皇制の変化や時代ごとの特徴を見定める。『歴史と地理 日本史の研究』連載を書籍化。

毎日新聞 2019/06/09

2019:4./ 117p

978-4-634-59118-9

本体 ¥1,200+税



宮沢賢治童話集(ハルキ文庫)

宮沢 賢治 著
角川春樹事務所
毎日新聞 2019/06/09

2009:3./ 229p

978-4-7584-3401-0

本体 ¥680+税



平成クロスワード～31 年を振り返る 31 問～

ニコリ 編
ニコリ

毎日新聞 2019/06/09

2019:5./ 127p

978-4-89072-778-0

本体 ¥1,750+税



看板建築～昭和の商店と暮らし～

萩野 正和 著
トゥーヴァージンズ

建物自体は和風だが、正面部分を一枚の看板のように装飾した「看板建築」。現存する看板建築 10 店舗の店主の思いや、懐かしき街風景のアーカイブ、コラムなどを収録する。データ:2019 年 5 月現在。

毎日新聞 2019/06/09

2019:6./ 191p

978-4-908406-27-0

本体 ¥1,900+税





失われたモノを求めて～不確かさの時代と芸術～

池田 剛介 著
夕書房

現代美術のあり方が、芸術とは何かを問う内的な行為からその外にある現実社会への働きかけへと変化してきているいま、「作品」はどこへ向かうべきなのか。美術作家・池田剛介の7編の論考と長編書き下ろしを収録した処女論集。

毎日新聞 2019/06/09

2019:2./ 179p
978-4-909179-03-6
本体 ¥2,400+税



世にも危険な医療の世界史

リディア・ケイン、ネイト・ビーダーセン、福井 久美子 著
文藝春秋

梅毒患者は水銀風呂に入れ! 泣き止まない子どもにはアヘンを! 瀉血、ロボトミー、食人、ストリキニーネなど、科学を知らない人類が試みた、ぞっとする医療や、詐欺まがいのインチキ療法の数々を紹介する。

毎日新聞 2019/06/09、日本経済新聞 2019/06/15

2019:4./ 427p
978-4-16-391017-8
本体 ¥2,200+税



35人の演奏家が語るクラシックの極意

伊熊 よし子 著
学研プラス

取材経験豊かな音楽ジャーナリストが、国際舞台で活躍する演奏家 35 人にインタビュー。彼らの演奏に対する姿勢、幼少期からの音楽とのかかわり方、コンサートにかける思い、恩師や家族とのエピソード等を簡潔な言葉で伝える。

毎日新聞 2019/06/16

2019:4./ 223p
978-4-05-800997-0
本体 ¥1,600+税



戦後の思考(講談社文芸文庫 か P3)

加藤 典洋 著
講談社

敗戦体験がどのような世界性をもつか、戦後という経験が狭義の戦後世界と広義の近代世界の中でどんな意味をたたえているか。戦後 50 年目に発表した著作「敗戦後論」への批判を踏まえたうえで、戦後をめぐる考察。

毎日新聞 2019/06/16

2016:11./ 573p
978-4-06-290328-8
本体 ¥2,200+税



生きながらえる術

鷺田 清一 著
講談社

生きることの難儀さ、芸術の偉力、考えることの深さ。多面体としての人間の営みとその様々な相に眼差しを向け織りなされる思索。現場に臨む哲学者が日常を楽しみ味わいながら生きるための技法を、軽やかに、しかも深く語る。

毎日新聞 2019/06/16

2019:5./ 265p,4p
978-4-06-515661-2
本体 ¥1,700+税



ネットウヨとパヨク(新潮新書 812)

物江 潤 著
新潮社

「反日勢力の陰謀」「安倍のせい」…。対話を拒否し、ネット上でひたすら他者を攻撃するネットウヨとパヨク。おかしい論理や、無尽蔵のエネルギーはどこから生まれるのか。行動原理や心理を読み解き、建設的な議論への道を探る。

毎日新聞 2019/06/16

2019:5./ 221p
978-4-10-610812-9
本体 ¥760+税





とめどなく囁く

桐野 夏生 著
幻冬舎

相模湾を望む超高級分譲地で、資産家の夫と暮らす早樹。前妻を突然の病気で、前夫を海難事故で亡くしたふたりの再婚生活。そんなある日、もう縁遠くなったはずの、前夫の母親から電話が…。『東京新聞』ほか連載を書籍化。

毎日新聞 2019/06/16

2019:3./ 445p
978-4-344-03446-4
本体 ¥1,800+税



蜜蜂と遠雷<上>(幻冬舎文庫 お-7-14)

恩田 陸 著
幻冬舎

芳ヶ江国際ピアノコンクール。自宅に楽器を持たない少年・風間塵、かつての天才少女・栄伝亜夜、サラリーマン・高島明石、優勝候補・マサル。天才たちによる、競争という名の自らの闘い。その火蓋が切られた。

毎日新聞 2019/06/16

2019:4./ 454p
978-4-344-42852-2
本体 ¥730+税



蜜蜂と遠雷<下>(幻冬舎文庫 お-7-15)

恩田 陸 著
幻冬舎

2次予選での課題曲「春と修羅」。マサルの演奏は素晴らしかった。が、明石は自分の「春と修羅」に自信を持ち、勝算を感じていた。3次、本選に勝ち進むのは誰か。そして優勝を手にするのは…。

毎日新聞 2019/06/16

2019:4./ 508p
978-4-344-42853-9
本体 ¥730+税



9条入門(「戦後再発見」双書 8)

加藤 典洋 著
創元社

戦後日本の象徴として、多くの日本人から熱烈に支持されてきた憲法 9条。多くの異説や混乱が存在するなか、あらゆる政治的立場から離れ、憲法 9条の「出生の秘密」から「昭和天皇」「日米安保」との相克までを描き出す。

毎日新聞 2019/06/16

2019:4./ 345p
978-4-422-30058-0
本体 ¥1,500+税



待機児童対策～保育の充実と女性活躍の両立のために～

八田 達夫 著
日本評論社

目指すべき待機児童対策とは? 経済同友会ウェブサイト掲載の待機児童対策の関係者へのインタビューを基に、事業者や自治体の問題意識や改革への提案、先進的な施策についてまとめると共に、日本の保育政策を改めて議論する。

毎日新聞 2019/06/16

2019:5./ 8p,246p
978-4-535-55943-1
本体 ¥2,200+税



令和改元の舞台裏

毎日新聞「代替わり」取材班 著
毎日新聞出版

「令和」への改元準備は、「平成」改元の頃からすでに始まっていた。その重責を担ったのが、国立公文書館の公文書研究官である男性だった。改元までの軌跡を追ったノンフィクション。『毎日新聞』掲載記事を中心に再構成。

毎日新聞 2019/06/16

2019:6./ 207p
978-4-620-32591-0
本体 ¥1,000+税





美しく呪われた人々

F.スコット・フィッツジェラルド、上岡 伸雄 著

作品社

デビュー作「楽園のこちら側」と永遠の名作「グレート・ギャツビー」の間に書かれたフィッツジェラルドの長編第2作。刹那的に生きる<失われた世代>の若者たちを絢爛たる文体で描く。

2019:4./ 484p

978-4-86182-737-2

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2019/06/16



PLANET OF WATER(NATIONAL GEOGRAPHIC)

高砂 淳二 著

日経ナショナルジオグラフィック社

水は生命をつなぎ、かくも美しき星をつくった。森に降る雨、滝のしぶきに満月の光が当たって現れたナイトレインボー、ウミガメの産卵、海の中を大移動しながら暮らすザトウクジラなど、水がめぐるさまを追いかけた写真集。

2019:6./ 1冊(ページ付なし)

978-4-86313-453-9

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2019/06/16



転生する文明

服部 英二 著

藤原書店

文明は、時空を変えて生き続ける! ユネスコ「世界遺産」の仕掛け人であり、「文明間の対話」を発信した著者が、世界100か国を踏破するなかで出会った数々の文明の移行と転生の姿を描く。

2019:5./ 326p

978-4-86578-225-7

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2019/06/16



漱石全集を買った日～古書店主とお客さんによる古本入門～

山本 善行、清水 裕也 著

夏葉社

本に興味のなかった若者が文学に出会い、古本マニアになるまでの歳月を、古書店主との対談形式で楽しく伝えます。巻頭に本棚の写真も収録。読めば今すぐ古本屋さんに行きたくなる一冊。

2019:4./ 210p

978-4-904816-32-5

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/06/16



日本旧石器時代(岩波新書 黄版 209)

芹沢長介 著

岩波書店

戦後最大の考古学的発見といわれる岩宿遺跡の発掘を手がけていらい、一貫して旧石器を追求しつづけてきた著者が、発掘調査の跡をたどりつつ、今日までの研究の到達点を明らかにする。

1982:10./ 232p

978-4-00-420209-7

本体 ¥563+税



毎日新聞 2019/06/23



真実の終わり

ミチコ・カクタニ、岡崎 玲子 著

集英社

客観的事実が消えゆく世界で、私たちはどう生きるべきか。トランプ政権に象徴される民主主義の危機、フェイクニュースやプロパガンダがはびこる現代社会の闇を、米文壇無比の文芸評論家が読み解く。

2019:6./ 172p

978-4-08-773496-6

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2019/06/23



世界地図を読み直す～協力と均衡の地政学～(新潮選書)

北岡 伸一 著
新潮社

大国の周辺国から国際秩序を見直せば、まったく新しい「世界地図」が立ち上がる。歴史と地理に精通した政治外交史家が、国際協力と勢力均衡の最前線で「21世紀の地政学」を考える。

2019:5./ 251p
978-4-10-603840-2
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/06/23



天使が見たもの～少年小景集～(中公文庫 あ20-3)

阿部 昭 著
中央公論新社

短篇小説の名手による<少年>を主題としたオリジナル・アンソロジー。病死した母親の後を追う少年の姿を端正な文体で描いた表題作のほか、随筆「あの夏あの海」など全 14 篇を収める。沢木耕太郎によるエッセイも収録。

2019:4./ 285p
978-4-12-206721-9
本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/06/23



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著
早川書房

ビッグ・ブラザー率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党员で、歴史の改竄が仕事だった。ある時、伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが...

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3
本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/06/23



わたしを離さないで

カズオ・イングロ、土屋 政雄 著
早川書房

全寮制施設に生まれ育ったキャシーは、今は亡き友人との青春の日々を思い返していた。奇妙な授業内容、教師たちの不思議な態度、キャシーたちがたどった数奇で皮肉な運命。彼女の回想は施設の驚くべき真実を明かしていく...

2006:4./ 349p
978-4-15-208719-5
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/06/23



渦～妹背山婦女庭訓魂結び～

大島 真寿美 著
文藝春秋

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた...。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。『オール讀物』連載を単行本化。

2019:3./ 361p
978-4-16-390987-5
本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/06/23



ブルー

葉真中 颯 著
光文社

その怒り、その悲しみ、その絶望。なぜ殺人鬼が生まれたのか? 平成 30 年間の文化・風俗を俯瞰しながら、児童虐待、子供の貧困、外国人の低賃金労働など、格差社会が生んだ闇に迫るクライムノベル。

2019:4./ 475p
978-4-334-91273-4
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2019/06/23



大坊珈琲店のマニュアル

大坊 勝次 著
誠文堂新光社

珈琲屋になるまで、営業時の心掛け、焙煎・抽出・テイस्टィングの仕方、キムホノ、平野遼…。コーヒー好きに愛されながら 2013 年に閉店した大坊珈琲店の店主が、38 年の営みを振り返り、大切にしてきたことを綴る。

毎日新聞 2019/06/23

2019:5./ 251p
978-4-416-51773-4
本体 ¥2,800+税



直感と論理をつなぐ思考法～VISION DRIVEN～

佐宗 邦威 著
ダイヤモンド社

「途方もない妄想」からスタートして、ヒト・モノ・カネを動かすには？ 目に見えない「停滞感」を打ち破る新技法「ビジョン思考」を、具体的なメソッドとともに紹介する。

毎日新聞 2019/06/23

2019:3./ 271p
978-4-478-10285-5
本体 ¥1,600+税



ズーム・イン・ユニバース～10[62]倍のスケールをたどる極大から極小への旅～

ケイレブ・シャーフ、ロン・ミラー、5W インフォグラフィックス、佐藤 やえ、渡部 潤一、川上 紳一、山岸 明彦、小芦 雅斗 著
みすず書房

宇宙の果てから銀河団やブラックホール、系外惑星を経て地球へ。大地溝帯の生態系、生物の細胞の炭素原子、陽子の内部へと突き進み…。10 の 62 乗ものスケールを、100 点を超えるイラストとインフォグラフィックでたどる。

毎日新聞 2019/06/23

2019:6./ 219p
978-4-622-08799-1
本体 ¥4,000+税



自治体産業政策の新展開～産業集積の活用とまちづくり的手法～(MINERVA 現代経済学叢書 123)

梅村 仁 著
ミネルヴァ書房

自治体における学習政策も含めた総合的な政策であるまちづくりの手法の導入・活用の有効性を各地の事例から検証し、産業集積地域の発展に向けた新しい自治体産業政策の可能性を提示する。

毎日新聞 2019/06/23

2019:2./ 6p,312p
978-4-623-08520-0
本体 ¥3,500+税



台湾レトロ氷菓店～あの頃の甘味と人びとをめぐる旅～

ハリー・チェン、中村 加代子 著
グラフィック社

トッピングが山のように盛られたかき氷、新鮮な果物を使ったフルーツジュースにアイス…。昔から台湾の人びとに愛されてきた「氷菓店」をテーマに、半世紀、あるいはそれ以上つづく老舗の甘味と店主らを写真で紹介する。

毎日新聞 2019/06/23

2019:6./ 271p
978-4-7661-3194-9
本体 ¥1,700+税



7袋のポテトチップス～食べるを語る、胃袋の戦後史～

湯澤 規子 著
晶文社

戦後史を「胃袋」から見ると、どのように見えるのだろうか。戦前・戦中・戦後を通して語り継がれた食と生活から見えてくる激動の時代とは。歴史学・地理学・社会学・文化人類学を横断しつつ、「胃袋の現代」を問いかける。

毎日新聞 2019/06/23

2019:3./ 341p
978-4-7949-7079-4
本体 ¥2,000+税





桃源の水脈～東アジア詩画の比較文化史～

芳賀 徹 著

名古屋大学出版会

東アジアの人びとの根源的な夢想と願望に根ざして作り上げられた、平和の小世界。古代中国に発し、詩的トポスとして幾多の詩文や絵画を生み出してきた「桃源郷」の系譜をまとめた比較詩画史。

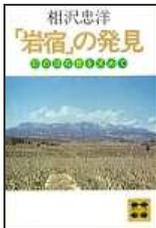
2019:5./ 4p,358p,11p

978-4-8158-0946-1

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2019/06/23



「岩宿」の発見～幻の旧石器を求めて～(講談社文庫)

相沢忠洋 著

講談社

毎日新聞 2019/06/23、毎日新聞 2019/06/30

1986:3./ 209p

978-4-06-134022-0

本体 ¥460+税



モンテ・クリスト伯<7>(ワイド版岩波文庫 369)

アレクサンドル・デュマ、山内 義雄 著

岩波書店

すべての復讐をなしとげたモンテ・クリスト伯は、孤独の女王エデの純真な愛情に、平和な人間らしい生活に入る決意をし、社交界を去る。彼が残した言葉は…。200年の間、世界各国で人気をあっつめてきた「巖窟王」の完訳。

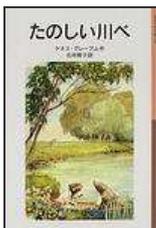
2013:12./ 441p

978-4-00-007369-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/06/30



たのしい川べ(岩波少年文庫 99)

ケネス・グレアム 著

岩波書店

人里はなれた静かな川べで素朴な生活を楽しむネズミやモグラ、ヒキガエルたち。小さな動物たちが自然の中でくりひろげるほほえましい事件の数々を、詩情ゆたかに描いた田園ファンタジーの名作。再刊。

2002:7./ 404p

978-4-00-114099-6

本体 ¥760+税



毎日新聞 2019/06/30



明治日本散策～東京・日光～(角川ソフィア文庫 I302-1)

エミール・ギメ、岡村 嘉子 著

KADOKAWA

明治 9 年、宗教と文化への関心から来日したフランスの実業家ギメ。茶屋娘との心の交流、浅草や不忍池に伝わる奇譚…。のちに東洋学の拠点となる美術館の創始者が軽妙な筆致で綴った日本紀行。同行画家レガメの装画も収録。

2019:4./ 425p

978-4-04-400428-6

本体 ¥1,120+税



毎日新聞 2019/06/30



中国の歴史<1>(講談社文庫)

陳 舜臣 著

講談社

毎日新聞 2019/06/30

1990:10./ 573p

978-4-06-184782-8

本体 ¥960+税





偶然の聖地

宮内 悠介 著
講談社

「偶然の旅行者」たちは、山を探す-。国、ジェンダー、SNS…。ボーダーなき時代に、鬼才・宮内悠介が描く世界地図。本文に 300 超の「註」を付した長編小説。『IN POCKET』連載を書籍化。

毎日新聞 2019/06/30

2019:4./ 330p

978-4-06-515334-5

本体 ¥1,650+税



東京懐かし写真帖(中公新書ラクレ 659)

読売新聞都内版編集室 編
秋山 武雄 著
中央公論新社

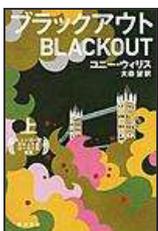
洋食屋店主がフライパンをカメラに持ち替え、70 年に渡り撮り続けた東京下町風景。『読売新聞』都民版の連載「秋山武雄の懐かし写真館」から、選りすぐりの 72 本を収録する。江戸っ子の語り口と共に、昭和の記憶が甦る一冊。

毎日新聞 2019/06/30

2019:6./ 317p

978-4-12-150659-7

本体 ¥1,100+税



ブラックアウト<上>(ハヤカワ文庫 SF 2020)

コニー・ウィリス、大森 望 著
早川書房

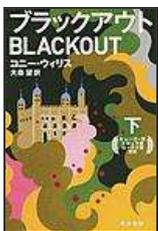
2060 年、オックスフォード大学の史学生 3 人は、現地調査のために、第二次大戦下のイギリスにタイムトラベルする。ところが、3 人はそれぞれ思いもよらぬ事態にまきまかれてしまい…。サスペンスとユーモアあふれる長編。

毎日新聞 2019/06/30

2015:7./ 463p

978-4-15-012020-7

本体 ¥960+税



ブラックアウト<下>(ハヤカワ文庫 SF 2021)

コニー・ウィリス、大森 望 著
早川書房

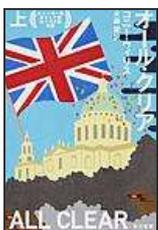
1940 年のイギリスで現地調査中の 3 人の史学生たちを、降下点のトラブルが襲う。もとの時代に帰るすべを模索する 3 人の運命は？ サスペンスとユーモアあふれる長編。

毎日新聞 2019/06/30

2015:7./ 478p

978-4-15-012021-4

本体 ¥960+税



オール・クリア<上>(ハヤカワ文庫 SF 2038)

コニー・ウィリス、大森 望 著
早川書房

第二次大戦下のイギリスを調査中の史学生 3 人は、それぞれ未来に帰還するための降下点が使えなくなっているのに気づく。奇跡的に再会した 3 人は、助け合いながら未来へ戻る方法を探す…。「ブラックアウト」続篇。

毎日新聞 2019/06/30

2015:11./ 607p

978-4-15-012038-2

本体 ¥1,280+税



オール・クリア<下>(ハヤカワ文庫 SF 2039)

コニー・ウィリス、大森 望 著
早川書房

1940 年から戻れなくなったマイク、ポリー、アイリーの 3 人は、未来に帰れない理由を探し求めている。彼らは歴史を変えてしまったのか？ ダンワージー教授と再会を果たしたポリーだったが…。「ブラックアウト」続篇。

毎日新聞 2019/06/30

2015:11./ 622p

978-4-15-012039-9

本体 ¥1,280+税





キネマと恋人

ケラリーノ・サンドロヴィッチ 著

早川書房

1930年代。東京から1年も2年も遅れて映画が上映される梟島の小さな映画館でハルコが映画を観ていると、銀幕の向こうから寅蔵が話しかけてきて…。戯曲作品。舞台写真と著者書き下ろしの解説&コメントも収録。

2019:5./ 237p

978-4-15-209863-4

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/06/30



中川原信一のあけび籠

堀 恵栄子、白井 亮 著

文藝春秋

あけび蔓の籠の編み手として名高い、秋田県在住の中川原信一。蔓採りから編み上げるまで手仕事の現場に密着し、秋田の春夏秋冬を通じて中川原の仕事を紹介。多くの人が憧れ、待ち焦がれる籠の魅力に迫る。

2019:3./ 155p

978-4-16-390991-2

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2019/06/30



コレクション日本歌人選<076> おみくじの歌

平野 多恵 著

笠間書院

日本の歌の歴史に大きな足跡を残した代表的歌人の秀歌を、堪能できるように編んだアンソロジー。各寺社の特徴やおみくじの歴史的な意義があらわれた50首を取り上げ、出典・鑑賞・脚注等を付して解説する。

2019:4./ 7p,115p

978-4-305-70916-5

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/06/30



フクロウの家

トニー・エンジェル、伊達 淳 著

白水社

画家、彫刻家として名高い著者が、フクロウと共に生き、触れ合った日々の記録。全米に生息する19種の生態の紹介と、緻密な観察に基づく美しい挿画約100点も収録した観察エッセイ。

2019:2./ 277p,7p

978-4-560-09675-8

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2019/06/30



永遠の一瞬〜歌仙〜

岡野 弘彦、三浦 雅士、長谷川 權、谷川 俊太郎、三角 みづ紀、蜂飼 耳、小島 ゆかり 著

思潮社

前の世は 文豪なりし すみれかな 春の七草 そらんずる 子よ(「すみれの巻」より) 歌人・岡野弘彦(乙三)、文芸評論家・三浦雅士、俳人・長谷川權らによる、故・大岡信を送る7つの歌仙を収録。

2019:2./ 133p

978-4-7837-3642-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/06/30



習近平の敗北〜紅い帝国・中国の危機〜

福島 香織 著

ワニブックス

政変、動乱、分裂、米中衝突、暗殺、台湾有事、食糧・エネルギー危機…。中国を襲う9つの厄災とは？中国の脅威とリスクについて、客観的な材料や中国人の書いた記事、論文を参考に紹介する。

2019:6./ 351p

978-4-8470-9815-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/06/30



みんなの「わがまま」入門

富永 京子 著

左右社

多様な人が時間と空間を共有する時代、自分の権利を主張するのは自己中？ わがまま？ 意見を言うことへの「抵抗感」をときほぐし、どうやって意見を言い「わがまま」を伝えればいいかを講義形式で解説する。書き込み欄あり。

2019:4./ 271p

978-4-86528-230-6

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2019/06/30